

年 報

—平成28年度—



No. 6

八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館

目次

I	沿革	1
II	施設概要	
	1. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）	2
	2. 八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館）	3
III	教育普及等	
	1. 常設展示	4
	2. 企画展示	6
	3. 教育普及の実績	10
	4. 開館5周年記念事業	15
	5. 定住自立圏広域的体験学習支援事業（はっふる隊）	16
	6. 是川時空探検祭！	16
	7. 地域連携	17
	8. 世界文化遺産登録へ向けた取り組み	17
	9. 調査研究	18
	10. 広報・情報発信	20
	11. ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」	21
IV	埋蔵文化財調査等	
	1. 発掘調査事業概要	22
	2. 調査概要	26
	3. 発掘調査報告書	35
	4. 情報公開	35
	5. 史跡整備	36
	6. 是川遺跡出土品保存修理事業	38
	7. 埋蔵文化財活用活性化事業	38
V	管理運営概要	
	1. 協議会等	39
	2. 日記抄	40
	3. 来館者利用状況	43
	4. 市内小中学校利用状況	44
	5. 資料利用状況	44
	6. 資料収蔵	48
	7. 予算概要	48
VI	組織・関係団体	
	1. 組織及び職員構成	49
	2. 八戸縄文保存協会	49
	3. 是川文化財愛護会	49
	4. 是川縄文隊	50
	5. 縄文是川ボランティア	50
	利用案内	51

I 沿革

是川縄文館は、市内の遺跡から出土した埋蔵文化財の積極的な公開・活用、適切な保存管理に努め、埋蔵文化財保護の重要性を伝えるため、埋蔵文化財センターとして平成23年（2011）に開館した。是川遺跡、風張1遺跡等の発掘成果をふまえた展示や体験交流等を通して、市民や来館者が地域文化の魅力を再発見し、誇りや愛着が感じられる郷土づくりに資する。

また、八戸市縄文学習館は、考古館・歴史民俗資料館とともに是川遺跡と一体となって活用を図る「是川遺跡文化学習ゾーン」の中核施設として、平成6年（1994）に開館した。平成23年（2011）5月に一時休館し、展示リニューアルを経て、同年7月10日に改めて開館した。なお平成23年度機構改革により、八戸市縄文学習館は八戸市博物館分館から八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館へ所管替えとなった。

- 昭和32年（1957）： 「是川石器時代遺跡」国史跡指定。
- 昭和36年（1961）： 泉山岩次郎氏、斐次郎氏ご兄弟から出土品の寄贈を受ける。
- 昭和37年（1962）： 寄贈品のうち、中居遺跡出土品633点が重要文化財に指定。
- 昭和38年（1963）： 「考古館」完成（9月30日）。
- 昭和49年（1974）： 「歴史民俗資料館」完成（3月30日）。
- 昭和50年（1975）： 「歴史民俗資料館」開館（5月10日）。
- 平成5年（1993）： 3月 「縄文学習館」基本設計完成。 4月 縄文学習館展示指導員会議実施。
5月 建築予定地発掘調査実施（8月終了）・地質調査完了。
6月 映像展示ソフト製作委託実施。 7月 建築実施設計完成。
8月 展示実施設計完成。
- 平成6年（1994）： 3月 建築・設備・展示各工事完成。
6月 「縄文学習館」開館（6月24日、八戸市博物館分館）。
- 平成7年（1995）： 是川遺跡文化学習ゾーンオープン（2月22日）。
- 平成9年（1997）： 「是川縄文の里整備基本構想」を策定。
- 平成15年（2003）： 「是川縄文の里整備検討委員会」を設置し、基本構想見直し。
- 平成16年（2004）： 「是川縄文の里整備検討委員会」が（仮称）是川縄文博物館の建設に向けて建設計画等を検討。史跡追加指定。
- 平成17年（2005）： （仮称）是川縄文博物館の建設用地取得。
- 平成18年（2006）： 施設の機能にあわせ（仮称）是川縄文館と改める。プロポーザル方式で設計業者を選定し、基本設計を実施。
- 平成19年（2007）： 実施設計を実施。
- 平成20年（2008）： 造成工事を実施し、建設工事に着手。
- 平成21年（2009）： 建設工事及び展示設備Ⅰ期工事を実施。
- 平成22年（2010）： 展示設備Ⅱ期工事及び外構・駐車場工事を実施。
- 平成23年（2011）： 4月 機構改革により縄文学習館が「八戸市博物館分館」から「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館」に所管替え。
5月 「考古館」・「歴史民俗資料館」閉館、「縄文学習館」一時休館、縄文学習館展示等改修業務委託実施。
6月 縄文学習館展示等改修業務委託完成。
中居遺跡出土品330点が重要文化財に追加指定（総数963点）。
7月 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館開館（7月10日）。
八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例及び施行規則、組織等規則施行。
開館記念企画展「八戸の埋蔵文化財」開催（7月10日～9月25日）。
開館記念講演会「是川遺跡の現在と未来」開催（7月17日）。
8月 来館者1万人達成。 ※本館観覧者数
10月 開館記念特別展「縄文至宝展」開催（10月15日～11月13日）。
- 平成24年（2012）： 7月 開館1周年行事開催（7月7日～7月24日）。 来館者5万人達成。 ※本館入館者総数
- 平成25年（2013）： 史跡追加指定（史跡総面積213,497㎡、遺跡全体の56.78%）。
- 平成26年（2014）： 6月 来館者10万人達成。 ※本館入館者総数
- 平成28年（2016）： 5月 来館者15万人達成。 ※本館入館者総数
7月 開館5周年行事開催（7月9日～7月10日）。
10月 史跡追加指定（史跡総面積219,009㎡、遺跡全体の58.24%）。

II 施設概要

1. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）

(1) 施設の名称と位置

- 名称：八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
- 住所：青森県八戸市大字是川字横山1

(2) 施設の概要

- 構造：1階鉄筋コンクリート造+2階鉄骨造
- 敷地面積：13,752.55㎡ ○建築面積：2,602.98㎡ ○延床面積：4,593.82㎡
- 建築基本・実施設計：(株)岡設計 ○展示基本・実施設計及び施工：(株)丹青社

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1階：2,408.19㎡ 2階：2,185.63㎡

階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)
1F	体験交流室	142.8	1F	館長室(応接室)	36.87	2F	図書閲覧コーナー	91.19
	アプローチ展示	229.53		事務室	79.12		研修室	62.12
	特別収蔵庫	139.49		会議室	51.12		調査記録保管室	39.78
	特別収蔵庫前室	22.70		スタッフルーム	46.51		書庫	133.42
	一般収蔵庫	473.06		器材庫	56.25		研究室	151.13
	荷解場	104.62	2F	常設展示室	503.01		出土品整理室	143.47
	保存科学室	55.44		国宝展示室	46.60		図面整理室	87.86
	作業室	54.90		企画展示室	178.37		写真撮影室	41.66
	ミュージアムショップ	78.59		展示準備室	81.94		ベビーコーナー	4.48

- 駐車場：普通車86台、大型バス6台、障がい者用3台 ○トイレ：2箇所(障がい者用含む、職員用除く)

(4) 建設事業費 ※総事業費：2,242,439千円

- 基本・実施設計：87,740千円 ○外構工事等：189,120千円 ○本棟工事等：1,628,434千円
- 器材庫建築工事等：50,012千円 ○展示工事：287,133千円



八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

2. 八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館）

(1) 施設の名称と位置

- 名称：八戸市縄文学習館（八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 分館）
- 住所：青森県八戸市大字是川字中居3-1

(2) 施設の概要

- 構造：1階・2階鉄筋コンクリート造
- 敷地面積：15,668.10㎡ ○建築面積：526.34㎡ ○延床面積：623.82㎡
- 建築基本・実施設計：(株)武田菱設計事務所 ○建築工事：(株)大入建設
- 展示基本・実施設計及び施工：アール・エー・ビー開発(株)

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1階：519.940㎡ 2階：103.880㎡

階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)
1F	事務室	29.975	1F	常設展示室	118.673	2F	資料整理室	34.504
	情報資料室	29.635		体験学習室	80.750		収蔵庫	46.216

- 駐車場：普通車8台 ○トイレ：1箇所（障がい者用含む）

(4) 建設事業費 ※総事業費：341,671千円

- 基本・実施設計：11,845千円 ○外構工事等：5,789千円 ○本棟工事等：241,665千円
- 展示工事・映像資料製作：68,644千円 ○その他：13,728千円

(5) 展示改修等事業費

- 事業費：8,810千円 ○展示改修等委託受託者：アール・エー・ビー開発(株)



八戸市縄文学習館
（八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 分館）

III 教育普及等

1. 常設展示

(1) 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

常設展示は、直感的な手法では川遺跡を印象付け（右脳）、論理的な手法で詳しい解説を行なう（左脳）、対比的なコンセプトとしており、「縄文の美と謎を探る」ことをテーマとしている。

導入部のイメージ・シアターは、来館者に是川遺跡の特徴を印象付け、体験できるシアター空間。漆塗り遺物の赤と黒や縄文文様をテーマとする神秘的な「縄文への道」に続き、豊かな自然の中で植物を多用に利用したくらしを紹介する「縄文くらしシアター」で構成する。続く「縄文の美」は、「漆の美」「是川の美」「風張の美」の3コーナーからなり、縄文人が作り出した造形美をじっくりと鑑賞できる空間とした。

左脳ゾーンとなる「縄文の謎」では、是川中居遺跡の発掘現場から、調査研究成果として「環境」「くらし」「わざ」「漆文化の広がり」という4つのテーマから紹介している。

続く「最新研究報告」は、埋蔵文化財センターの調査・研究成果を更新しながら展示する常新展示を目指している。平成28年度は前年度から引き続き、第4回「遺物を守る－金属製品の保存処理」を公開している。合掌土偶は「国宝展示室」の免震・密閉式展示ケースにて展示されている。

なお、1階アトリウムはガイダンス展示となっており、八戸市の遺跡や、全国の縄文遺跡について調べることができる体験型の端末「はちのへ遺跡ログ」・「是川羅針盤」を設置している。

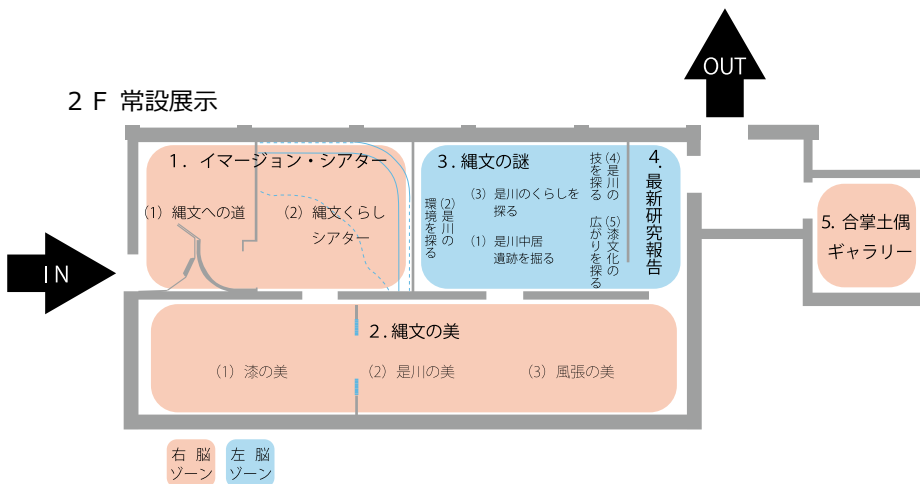
展示室	展示品	重要文化財	指定外	レプリカ	復元品	民俗資料
漆の美	52	50	2	-	-	-
是川の美	226	182	44	-	-	-
風張の美	203	203	-	-	-	-
縄文の謎	81	46	3	1	24	7
最新研究報告	41	-	37	4	-	-
国宝展示室	1	※国宝1	-	-	-	-
計	604	481	86	5	24	7



縄文の美

常設展示品（平成28年度）

※考古資料のうち国指定重要文化財が占める割合は約8割

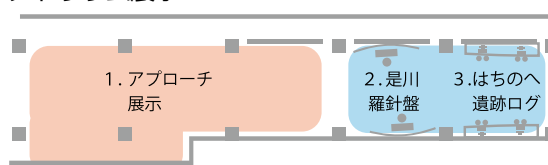


国宝展示室

1 F アトリウム展示



是川羅針盤



展示構成

(2) 八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館）

是川縄文館分館の常設展示では、是川遺跡の学史的背景や概要について紹介するとともに、埋蔵文化財センターの役割について解説しており、本館常設展示へのプロローグとなっている。

I 是川遺跡と泉山兄弟

是川遺跡の発掘と保存に大きな功績を残した泉山岩次郎、斐次郎ご兄弟を顕彰し、泉山ご兄弟による是川遺跡発掘の歴史や、考古学研究者たちとの関わり等について紹介する。

II 是川遺跡

是川遺跡を構成する一王寺遺跡（縄文時代前期～中期）、堀田遺跡（縄文時代中期）、中居遺跡（縄文時代晩期）について概要を紹介する。また各遺跡の日本考古学史に残る貴重な発見について解説している。

III 是川遺跡の環境

中居遺跡の花粉分析の成果をもとに、縄文時代晩期の頃の環境について紹介する。また屋外に植栽した縄文時代の植物を散策してもらうよう、植物の種類・地点を図表で示しており、フィールドミュージアムの要素を盛り込んでいる。

IV 埋蔵文化財センターの役割

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の機能・役割について紹介する。展示は「埋蔵文化財の保護」、「発掘調査」、「整理作業」、「発掘調査報告書の作成」、「埋蔵文化財の活用と普及」の5項目で構成し、埋蔵文化財保護意識の啓発に努める。また、これまで作成・刊行した八戸市内の遺跡の発掘調査報告書を設置し、閲覧できるようになっている。

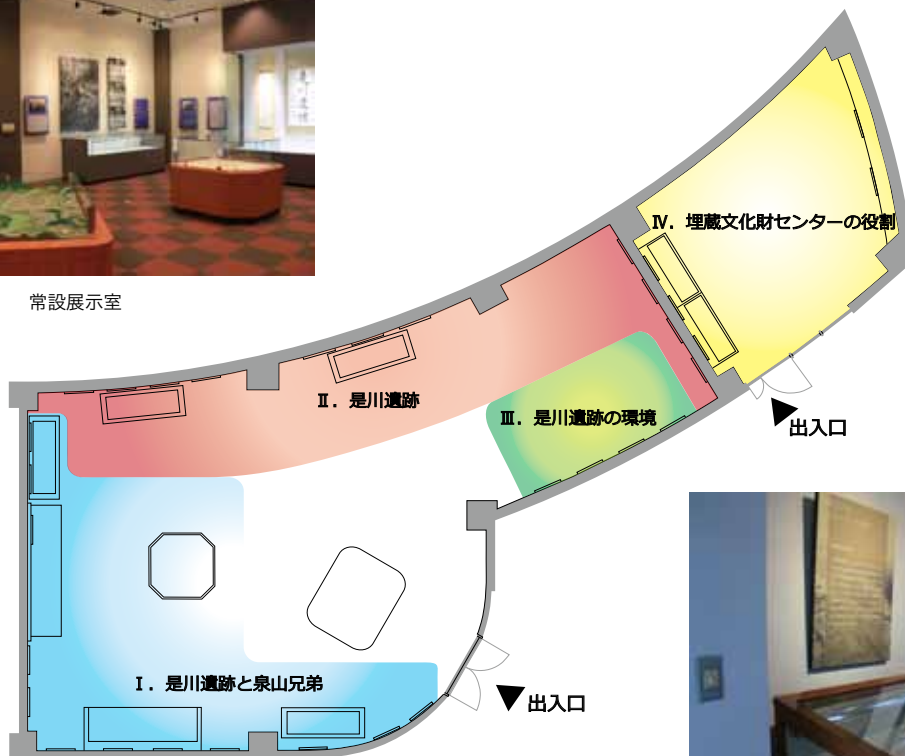
展示室	展示品	文献史料	民俗資料
是川遺跡と泉山兄弟	61	51	10
是川遺跡	3	3	-
埋蔵文化財センターの役割	6	6	-
計	70	60	10

常設展示品（平成 28 年度）

※埋蔵文化財の展示公開はしていない



常設展示室



展示構成



IV 埋蔵文化財センターの役割

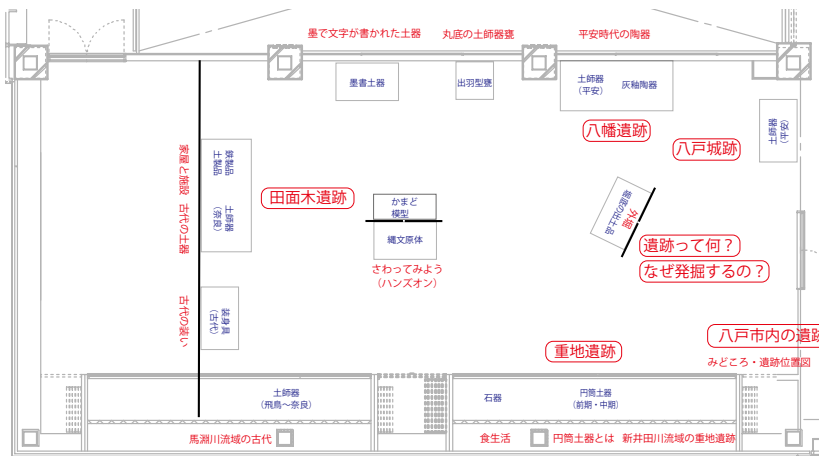
2. 企画展示

平成28年度は、春季企画展「掘り day はちのへ～平成27年度発掘資料展～」、特別展「山の縄文世界～中部高地の縄文時代～」、秋季企画展「馬淵川流域の縄文時代」のほか、冬季にパネル展「伝える～大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.2～」を開催した。

(1) 春季企画展「掘り day はちのへ～平成27年度発掘資料展～」

開催期間 4月29日(金)～6月26日(日) 52日間
 観覧者数 4,532名(88人/日)
 展示資料数 190点
 印刷物 ポスター(B2版)500枚 解説リーフレット(A3版)20,000枚
 用語解説・展示品一覧(A3版)5,000枚、招待券670枚
 主な展示品 縄文土器(重地遺跡)、石器(重地遺跡)、土師器(田面木遺跡・八幡遺跡・八戸城跡)、
 灰釉陶器(八幡遺跡)、勾玉(田面木遺跡)、木製品(八戸城跡)
 併催行事 ギャラリートーク 5/7、6/4 各日とも午前11時～・午後2時～

平成27年度に八戸市内で行われた、主要な発掘調査の成果および出土品を紹介した。会期中には、調査を担当した学芸員によるギャラリートークを開催した。



展示構成



春季企画展リーフレット



展示状況



ギャラリートーク

(2) 開館5周年記念特別展「山の縄文世界 - 中部高地の縄文時代 -」

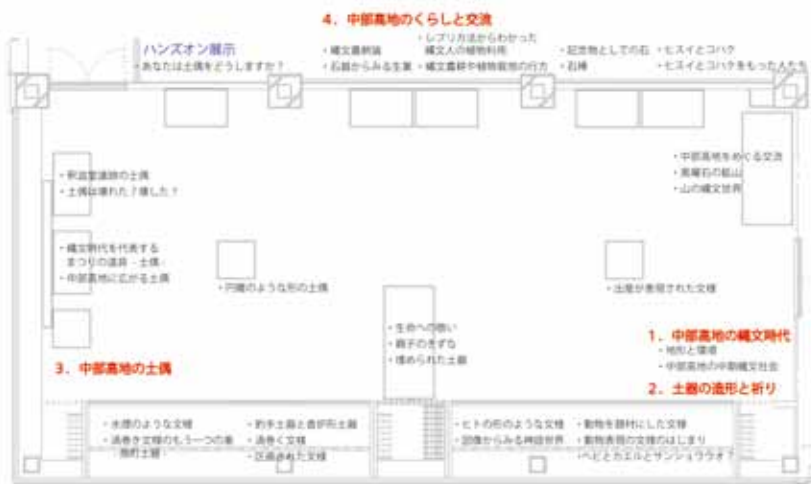
開催期間 7月23日(土)～9月4日(日) 39日間
 観覧者数 5,320名(136人/日)
 展示資料数 122点
 印刷物 ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)50,000枚

解説リーフレット(A3版)5,000枚 招待券2,000枚 特別展図録(A4版82ページ)500部
 主な展示品 縄文土器(長野県藤内遺跡・唐渡宮遺跡・井戸尻遺跡、棚畑遺跡、山梨県津金御所前遺跡・甲ッ原遺跡・原町農業高校前遺跡・釈迦堂遺跡・石原田北遺跡・鋳物師屋遺跡・長田口遺跡・真原A遺跡・下平遺跡・安道寺遺跡・上野原遺跡・小屋敷遺跡、群馬県道訓前遺跡)、土偶(長野県棚畑遺跡・山梨県鋳物師屋遺跡・中丸遺跡・向原遺跡・竹宇3遺跡・一の沢遺跡・甲ッ原遺跡・釈迦堂遺跡)、土鈴(山梨県飯米遺跡)、石器(長野県曾利遺跡・棚畑遺跡、山梨県甲ッ原遺跡・鋳物師屋遺跡・上コブケ遺跡)、種子圧痕レプリカ(山梨県鋳物師屋遺跡)、ヒスイ・コハク製品(長野県中ッ原遺跡・長峯遺跡・聖石遺跡・塩之目尻遺跡・勝山遺跡・福沢中原遺跡、山梨県大月遺跡・甲ッ原遺跡)

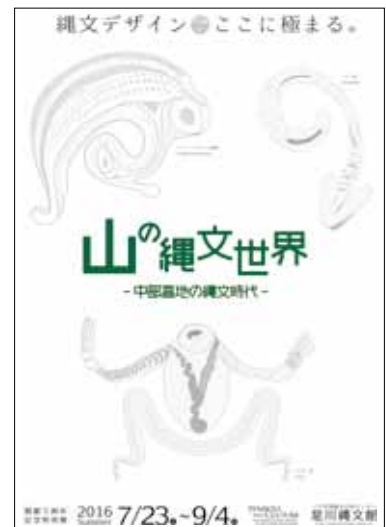
併催行事 特別展ギャラリートーク 7/23,30,8/6,13,20,27(2回開催),9/3 午後2時～、
 特別展考古学講座 8/27 午後2時～

開館5周年を記念し、亀ヶ岡文化とともに縄文文化の最高峰とされる、中部高地の中期縄文文化をテーマとして、この地域で生まれた文化とそれを支えたくらしや社会を展示紹介した。重要文化財50点をはじめとする中部高地の縄文の至宝を一堂に集め、迫力ある展示構成を企画し、来館者から好評を得た。

特別展開催に先立ち、前期考古学講座では特別展イベントとして「中部高地の縄文文化」を開催し、特別展への期待感の醸成を図った。また、ハンズオン展示では「あなたは土偶をどうしますか?」と題し、観覧者に小型土偶を実際に壊してもらう体験を企画した。この小型土偶の準備にあたり、特別展市民スタッフを募集するとともに、縄文是川ボランティアより協力を得た。約4,000個の土偶を観覧者に配布し、展示内容の充実を図った。



展示構成



特別展リーフレット



展示状況



土偶(山梨県鋳物師屋遺跡)

(3) 秋季企画展「馬淵川流域の縄文時代」

開催期間 10月8日(土)～11月20日(日) 38日間(休館日を除く)

観覧者数 3,446人(91人/日)

展示資料数 172点

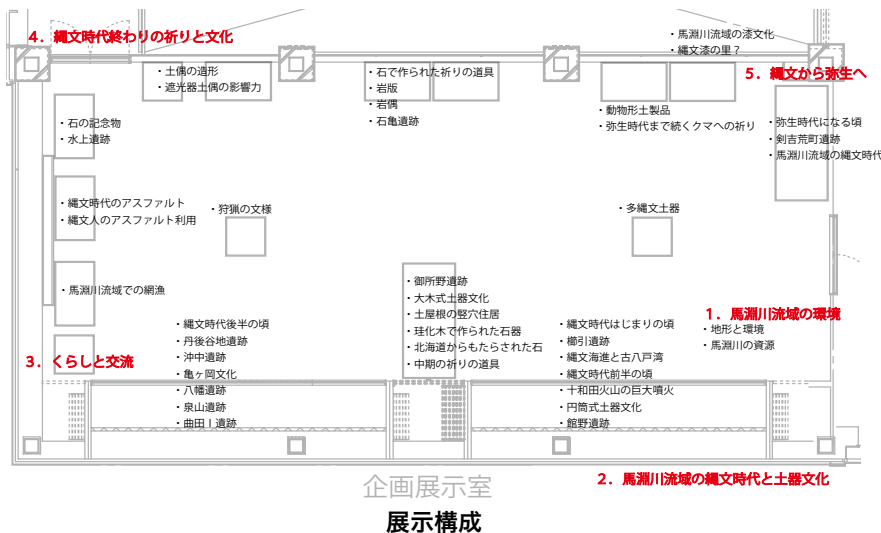
印刷物 ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)50,000枚

解説リーフレット(A3版)2,000枚 招待券800枚 図録(A4カラー55ページ)500部

主な展示品 縄文土器(八戸市櫛引遺跡・葦窪遺跡・八幡遺跡・南部町館野遺跡・剣吉荒町遺跡、一戸町御所野遺跡、八幡平市曲田I遺跡)、石器(南部町西久根遺跡、一戸町御所野遺跡)、土偶(三戸町八日町遺跡・泉山遺跡・沖中遺跡、一戸町山井遺跡)、土製品(南部町水上遺跡、一戸町御所野遺跡)、漆液容器(八幡平市赤坂田I遺跡・曲田I遺跡)、アスファルト容器(三戸町沖中遺跡)、岩偶(田子町野面平遺跡・石亀遺跡、一戸町山井遺跡)、岩版(田子町野面平遺跡)、砂鉄塊(三戸町泉山遺跡)、弥生土器(二戸市上杉沢遺跡・中穴牛遺跡)

併催行事 企画展ギャラリートーク 10/8,15,22,29,11/5,12,19 午後2時～(11/5は午前10時～)
企画展考古学講座 11/5 午後2時～

岩手県北部から青森県南部にかけて流れる馬淵川流域の遺跡から出土した資料から、この地域の縄文人の暮らしや文化、交流について展示紹介した。会期中は毎週土曜日にギャラリートークを開催したほか、展示の内容について、デーリー東北紙上にて連載記事を執筆した。



企画展示室
展示構成



秋季企画展リーフレット



展示状況



狩猟文土器(八戸市葦窪遺跡)



企画展ギャラリートーク



遮光器土偶（三戸町八日町遺跡）

(4) パネル展 「伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol. 2-」

- 開催期間 12月17日(土)～3月20日(日)
75日間
- 観覧者数 2,336名(32人/日)
- 展示資料数 38点
- 主な展示品 写真パネル、写真原版レプリカ、
保存箱、カメラ（八戸市博物館蔵）、
絵葉書、写真掲載書籍

埋蔵文化財活用活性化事業の一環として、平成26年度より実施している写真原板の保存修理事業による写真パネル展。高精度デジタル化によって製作した写真パネルのほか、写真機や保存箱などを共に展示し、写真による記録の必要性と重要性を紹介した。写真原版は発掘調査時の遺跡の様子や出土品が記録されているガラス乾板である。



展示状況

開催年度	特別展・企画展	名称	開催期間	日数	入館者数	人/日	資料数
平成23年	開館記念企画展	八戸の埋蔵文化財	7/10～9/25	77	19,245	275	222
平成23年	開館記念特別展	縄文至宝展	10/15～11/13	27	7,509	278	358
平成24年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成23年度発掘資料展～	4/28～6/24	53	6,632	125	56
平成24年	特別展	発掘された日本列島2012	8/8～9/17	38	7,723	203	600
平成24年	秋季企画展	縄文のストーンサークル	10/13～11/25	39	3,037	77	169
平成25年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成24年度発掘資料展～	4/27～6/23	52	4,135	79	120
平成25年	特別展	みみずく土偶と縄文人-関東の晩期安行文化-	7/20～9/2	41	4,577	111	203
平成25年	秋季企画展	縄文時代の津軽半島	10/12～11/24	38	2,884	74	235
平成26年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成25年度発掘資料展～	4/26～6/22	52	3,630	69	138
平成26年	特別展	トーテムポールの人びと～漁労・狩猟採集民の暮らし～	8/1～9/15	42	5,364	128	115
平成26年	秋季企画展	海と火山と縄文人-是川縄文館・東京大学共同研究展示-	10/11～11/24	39	3,168	81	179
平成27年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成26年度発掘資料展～	4/26～6/22	51	4,477	88	190
平成27年	特別展	漆と縄文人	7/25～9/6	39	5,753	148	162
平成27年	秋季企画展	小川原湖周辺の縄文文化	10/10～11/23	39	3,782	97	221
平成27年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真-	12/19～3/21	74	2,775	38	24
平成28年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成27年度発掘資料展～	4/29～6/26	52	4,532	88	190
平成28年	特別展	山の縄文世界-中部高地の縄文時代-	7/23～9/4	39	5,320	136	122
平成28年	秋季企画展	馬淵川流域の縄文時代	10/8～11/20	38	3,446	91	172
平成28年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.2-	12/17～3/20	75	2,336	32	38

過去6年間の特別展・企画展一覧

3. 教育普及の実績

企画展「掘り day はちのへ」 ギャラリートーク（展示解説）

実施	講師	参加者（人）
5/7(土)	(午前) 村木 淳・(午後) 横山寛剛 (当館学芸員)	24
6/4(土)	(午前) 西村広経・(午後) 苧坪祐樹 (当館学芸員)	14
合計		38

考古学講座

実施	内容	講師	参加者（人）
5/14(土)	東日本縄文社会における交易と交流	水沢教子氏(長野県埋蔵文化財センター主任調査研究員)	58
6/18(土)	中部高地、八ヶ岳山麓の縄文世界	佐野隆氏 (北杜市埋蔵文化財センター主幹)	60
7/16(土)	縄文の大地からのメッセージー八ヶ岳山麓・諏訪湖周辺の縄文中期文化ー	会田進氏(明治大学研究・知財戦略機構黒耀石研究センター客員研究員)	63
12/10(土)	倭人と蝦夷ー古代の列島北部における文化と人間集団ー	藤沢敦氏(東北大学学術資源研究公開センター総合学術博物館教授・東北大学埋蔵文化財調査室長)	67
1/14(土)	続縄文文化と東北弥生文化の交流	高瀬克範氏(北海道大学大学院文化研究科准教授)	53
2/4(土)	考古学から見た中近世北方交易とアイヌ文化	関根達人氏(弘前大学大学院人文社会科学部研究科教授・弘前大学北日本考古学研究センター長)	68
合計			369

特別展ギャラリートーク

実施	講師	参加者（人）
7/23(土)	市川健夫(当館学芸員)	12
7/30(土)	小久保拓也(当館学芸員)	12
8/6(土)	市川健夫(当館学芸員)	19
8/13(土)	小久保拓也(当館学芸員)	13
8/20(土)	市川健夫(当館学芸員)	10
8/27(土)	(午前) 上ノ山拓己(当館学芸員)	22
8/27(土)	(午後) 小野正文氏(甲州市教育委員会文化財指導監・(財)歴史博物館信玄公宝館館長)	25
9/3(土)	市川健夫(当館学芸員)	12
合計		125

特別展考古学講座

実施	内容	講師	参加者（人）
8/27(土)	中部高地の土器・土偶に見る物語性文様	小野正文氏(甲州市教育委員会文化財指導監・(財)歴史博物館信玄公宝館館長)	87
合計			87

縄文の布を編む講座

実施	内容	講師	参加者（人）
9/3(土)	解説「縄文の布について」 実習「縄文の布を編む」	市川健夫(当館学芸員) 縄文是川ボランティア	12
合計			12

縄文土器作り講座

実施	内 容	講 師	参加者 (人)
10/ 8(土)	素地土作り	上ノ山拓己(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	14
10/22(土)	縄文土器作り(成形作業)	上ノ山拓己(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	13
11/19(土)	縄文土器野焼き	上ノ山拓己(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	21
合 計			48

企画展ギャラリートーク(展示解説)

実施	講 師	参加者 (人)
10/ 8(土)	市川健夫(当館学芸員)	12
10/15(土)	上ノ山拓己(当館学芸員)	25
10/22(土)	小久保拓也(当館学芸員)	10
10/29(土)	上ノ山拓己(当館学芸員)	9
11/ 5(土)	市川健夫(当館学芸員)	13
11/12(土)	市川健夫(当館学芸員)	2
11/19(土)	上ノ山拓己(当館学芸員)	6
合 計		77

企画展考古学講座

実施	内 容	講 師	参加者 (人)
11/ 5(土)	馬淵川と縄文文化ー豊かな川と生きた縄文人のくらしー	高田和徳氏(一戸町世界文化遺産登録推進室長、御所野縄文博物館長)	65
合 計			65

これかわ考古学クラブ

平成28年度は、希望者なしのため開講なし

ボランティア養成講座 ※6/11,7/2は土曜体験教室と併催。

実施	内 容	講 師	参加者 (人)
5/21(土)	縄文是川ボランティアについて	市川健夫(当館学芸員)	13
5/28(土)	是川遺跡について	市川健夫(当館学芸員)	17
5/28(土)	是川遺跡のガイドについて	小久保拓也(当館学芸員)	17
6/ 4(土)	是川縄文館常設展示解説①	小久保拓也(当館学芸員)	17
6/ 4(土)	是川縄文館常設展示解説②	小久保拓也(当館学芸員)	15
6/11(土)	縄文土器作り教室(実習)	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	14
6/11(土)	縄文学習館展示解説	市川健夫(当館学芸員)	9
6/24(金)	博物館研修(青森県弘前市)	市川健夫・上ノ山拓己(当館学芸員)	21
6/25(土)	縄文土器野焼き実習	市川健夫(当館学芸員)	15
7/ 2(土)	合掌土偶作り教室(実習)	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	9
合 計			147

ボランティア養成講座 ※2/18,3/1は土曜体験教室と併催。

実施	内 容	講 師	参加者(人)
1/21(土)	縄文是川ボランティアについて	市川健夫(当館学芸員)	18
1/28(土)	縄文の布を編む実習	上ノ山拓己(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	12
2/11(土)	文化財保護と観光 その問題点を考える	栗村知弘氏(八戸縄文保存協会会長)	13
2/18(土)	縄文土器作り教室(実習)	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	15
2/25(土)	A E D 講習	八戸消防署救急隊	7
3/ 4(土)	滑石で勾玉作り教室	上ノ山拓己(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	10
3/11(土)	縄文土偶作り教室(実習)	上ノ山拓己(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	13
3/18(土)	火起こし・耳飾り作り実習	上ノ山拓己(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	17
3/24(金)	博物館研修(岩手県北上市)	上ノ山拓己(当館学芸員)	18
3/25(土)	大森貝塚と是川遺跡の石碑のことなど	工藤竹久氏(青森県文化財保護審議会委員)	21
合 計			144

日曜日縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者(人)
夏季前期：4/ 3(日)～7/17(日)	火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製耳飾り作り・琥珀勾玉作り・滑石勾玉作り・文様拓本・縄文の布を編む	326
夏季後期：8/28(日)～10/30(日)		152
冬 季：11/ 6(日)～3/26(日)		220
合 計		698

夏休み縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者(人)
7/23(土)～8/14(日)	火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製耳飾り作り・琥珀勾玉作り・滑石勾玉作り・文様拓本・縄文の布を編む	222
合 計		222

これかわ縄文まつり体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者(人)
8/21(日)	火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製耳飾り作り・縄文の布を編む	207
合 計		207

発掘調査現地説明会

実施	遺 跡 名	講 師	参加者(人)
8/27(土)	田面木遺跡	苧坪祐樹(当館学芸員)	41
10/22(土)	一王寺(1)遺跡	横山寛剛(当館学芸員)	43
合 計			84

遺跡調査報告会

実施	内 容	講 師	参加者(人)
11/12(土)	一王寺(1)遺跡(縄文時代)	横山寛剛(当館学芸員)	68
	田面木遺跡(古代)	苧坪祐樹(当館学芸員)	
	聖寿寺館跡 ※(南部町)	布施和洋氏(南部町教育委員会社会教育課)	
	企画展「馬淵川流域の縄文時代」について	上ノ山拓己(当館学芸員)	
合 計			68

土曜体験教室 ※6/11,7/2,2/18,3/11 はボランティア養成講座の参加者数と合算。

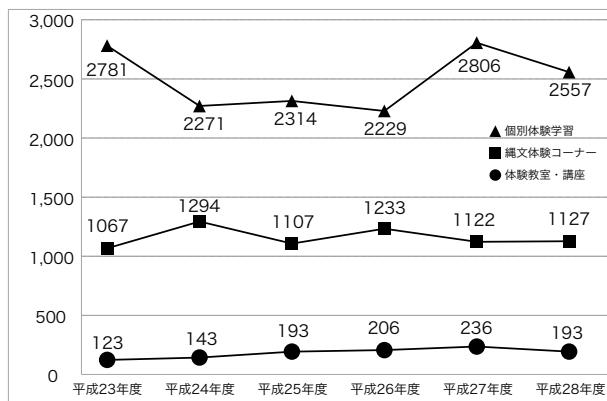
実施	内容	講師	参加者(人)
4/16(土)	縄文の布を編む教室	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	12
5/7(土)	シカの角でペンダント作り教室	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	15
6/11(土)	縄文土器作り教室	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	14
7/2(土)	合掌土偶作り教室	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	17
9/17(土)	シカの角で釣針作り教室	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	5
10/29(土)	トチの実を食べる教室(於分館)	上ノ山拓己(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	11
11/26(土)	ドングリを食べる教室(於分館)	上ノ山拓己(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	14
12/17(土)	縄文土器の拓本教室	市川健夫・上ノ山拓己(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	5
1/7(土)	滑石でペンダント作り教室	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	8
2/18(土)	縄文土器作り教室	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	17
3/11(土)	縄文土偶作り教室	上ノ山拓己(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	15
合 計			133

学芸員による講話

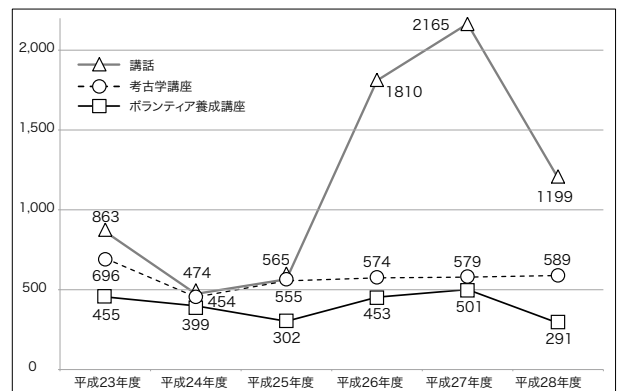
実施	内容	団体・場所	参加者(人)
5/25(水)	講話「是川縄文遺跡等」	鷗盟大学(於:是川縄文館)	14
6/9(木)	講話「昔の柏崎」	柏崎小学校3年(於:柏崎小学校)	99
6/25(土)	講話「ふるさとてくてく旅 長者村編」	第3回平成28年度八戸市史講座(於:八戸市立図書館)	20
7/1(金)	講話「八戸市の歴史と縄文文化」	八戸市総合教育センター(於:是川縄文館)	38
8/2(火)	講話「漆文化の魅力 是川遺跡へ育まれた文化の暮らし」	下長公民館講座(於:下長公民館)	13
8/23(火)	講話「是川遺跡と縄文文化」	小中野小学校6年修学旅行事前学習会(於:小中野小学校)	72
9/16(金)	講話「南部氏で考える『中世から近世』」	歴史教室(於:東公民館)	37
9/16(金)	講話「縄文について」	八戸地区保護司会(於:八戸グランドホテル)	50
9/21(水)	講話「八戸はこれからがおもしろい~地域の歴史に未来がある~」	八戸ポータルミュージアム(於:八戸ポータルミュージアム)	78
10/23(日)	講話「南郷に行ってみよう、見てみよう!」	南郷のまちづくりワーキング会議(於:南郷地区)	18
11/20(日)	講話「縄文語のはじまり」	はっち市2016「ちっちゃな街のまなび舎」(於:八戸ポータルミュージアム)	40
11/22(火)	講話「是川の各名所旧跡見学会」	是川地区振興会(於:是川地区)	35
11/30(水)	講話「柏と柏崎小学校」	柏っこミュージアム(於:柏崎小学校)	99
12/6(火)	講話「根城むら・沢里むら-根城地区のちょっと昔を考える-」	根城小学校4~6年(於:根城小学校)	340
12/10(土)	講話「一王寺(1)遺跡」	青森県埋蔵文化財発掘調査報告会(於:青森県総合社会教育センター)	180
1/18(水)	講話「八戸と縄文」	八戸地区自家用電気協議会(於:八戸グランドホテル)	38
3/23(木)	講話「八戸縄文について」	平成28年度縄文語り部勉強会&交流会(於:はちのへくりニック街かどミュージアム)	28
合 計			1,199

ボランティアによる体験学習の指導 ※参加者数は、各団体来館者のうち実際の体験参加者数を記載する

月日	体験内容	団体名	参加者	月日	体験内容	団体名	参加者
4/20	滑石の勾玉作り	南部町立南部小学校6年	15	9/6	縄文土器作り	是川小学校5年	35
4/22	土製ペンダント作り	第二しのめ幼稚園	15	9/7	合掌土偶作り	是川小学校6年	31
4/27	滑石の勾玉作り	白銀小学校6年	35	9/8	板状土偶作り	是川小学校2年	31
4/28	滑石の勾玉作り	白銀南小学校6年	93	9/10	縄文土器作り	南部町立福田小学校3年親子レク	23
5/2	土製ペンダント作り	白山台小学校6年	161	9/14	土製ペンダント作り	是川小学校1年	22
5/10	縄文土器作り	旭ヶ丘小学校6年	66	9/15	滑石の勾玉作り	三条小学校6年	51
5/19	縄文土器作り	白鷺小学校6年	54	9/30	縄文の布を編む	体験学習	1
5/27	滑石の勾玉作り	南部町立福地小学校6年	18	10/6	縄文土器作り	階上町立道仏小学校6年	20
5/31	合掌土偶作り	南部町立剣吉小学校6年	23	10/6	火起こし	青森県立八戸第二養護学校 中等部2年	17
6/6	滑石の勾玉作り	新郷村立戸来小学校6年	18	10/9	滑石の勾玉作り・縄文の布を編む	わくわくフェスタ2016(於八食センター)	135
6/7	縄文土器作り	南部町立杉沢小学校5・6年	8	10/10	滑石の勾玉作り・縄文の布を編む	わくわくフェスタ2016(於八食センター)	126
6/8	合掌土偶作り	鶴盟大学	11	10/15	縄文土器作り	おいらせ町立下田小学校5年親子レク	35
6/9	縄文土器作り	青森県立八戸第一養護学校中等部3年	5	10/18	縄文土器作り	七戸町立天間東小学校全学年	74
6/10	滑石の勾玉作り	おいらせ町立百石小学校6年	62	10/21	滑石の勾玉作り	青森県立三沢高等学校定時制全学年	53
6/11	縄文土器作り	縄文土器作り教室	7	10/27	縄文土器作り	南郷小学校6年	31
6/14	縄文土器作り	南部町立杉沢中学校1～3年	34	10/28	テラコッタ野焼き	是川中学校(於是川中学校)	228
6/15	土製ペンダント作り	田面木小学校6年	32	11/1	縄文土器作り	根城小学校6年	86
6/16	土製耳飾り作り	八戸学院短期大学	89	11/7	滑石の勾玉作り	長者小学校6年	50
6/22	合掌土偶作り	中居林小学校6年	47	11/9	滑石の勾玉作り	三沢市立第一中学校1年	112
6/23	縄文土器作り	八戸第二養護学校小学部6学年	8	11/15	滑石の勾玉作り	柏崎小学校6年	96
6/28	縄文土器作り	吹上小学校6年	97	11/15	滑石の勾玉作り	青森県立八戸響学校6年	3
7/1	合掌土偶作り	八戸市総合教育センター	34	11/17	板状土偶作り	是川小学校2年(於是川小学校)	8
7/8	縄文土器作り	鶴盟大学	18	12/4	滑石の勾玉作り	株式会社デルタエージェンシー	2
7/13	板状土偶作り	南部町立名川南小学校5年	7	12/8	火起こし	美保野小学校5・6年	3
7/13	板状土偶作り	南部町立名川南小学校6年	3	12/17	土器文様拓本作り	縄文土器の拓本教室	0
7/15	滑石の勾玉作り	田子町立田子小学校6年	28	1/21	滑石の勾玉作り	きくよし学童保育	14
7/22	縄文土器作り	八戸市中学校社会科教育研究会	17	1/31	滑石の勾玉作り	階上町立石鉢小学校6年	41
7/27	土製耳飾り作り	青森放送株式会社	1	2/2	板状土偶作り	五戸町立五戸小学校5年	71
8/4	滑石の勾玉作り	体験学習	16	2/6	滑石の勾玉作り	多賀台小学校6年	33
8/4	縄文土器作り	体験学習	2	2/11	滑石の勾玉作り	株式会社ニチイ学館	10
8/9	縄文土器作り	下長公民館(於下長公民館)	17	2/17	火起こし	かがり火えんぶり点火式(於本庁前広場)	3
8/9	縄文土器作り・火起こし	体験学習	2	2/28	滑石の勾玉作り	個人体験学習	7
8/11	縄文土器作り	島守小学校PTA	17	3/7	滑石の勾玉作り	八戸観光コンベンション協会	4
8/18	縄文土器作り	大久喜小学校6年	12	3/7	琥珀の勾玉作り	八戸観光コンベンション協会	1
8/18	板状土偶作り・縄文の布を編む	体験学習	2	3/14	土製ペンダント作り	米軍三沢基地内ソラーズ小学校1年	48
8/20	縄文土器作り等	八戸市博物館(実習生)	8	3/16	土製ペンダント作り	米軍三沢基地内ソラーズ小学校1年	32
8/24	滑石の勾玉作り	東糠塚百働会	21	3/23	土製ペンダント作り	米軍三沢基地内ソラーズ小学校1年	30
9/1	縄文土器作り	是川小学校3年	36	3/30	縄文土器作り	青森テレビ	2
9/2	縄文土器作り	是川小学校4年	46	3/31	滑石の勾玉作り	ソーシャルファームエッグス	5
9/5	縄文土器作り	三戸町立斗南小学校4・5・6年	26				
						合計	2,785



過去6年間の体験学習の利用者推移
※平成23年度は7月からスタート



過去6年間の講演会等の利用者推移
※平成23年度は開館記念講演会等を含む

4. 開館5周年記念事業

○さわれる国宝土偶

当館の常設展示の目玉となっている国宝土偶「合掌土偶」を、より多くの方に親しんでもらうため、さわれる国宝土偶を製作し、7月10日より1階アトリウムにて展示公開した。製作は業務委託を行い、土偶の内部構造や保存状態を把握するため、X線CTスキャンを実施し、測定データを加工して3Dプリンターで出力する方法とした。さわれる国宝土偶は重量の調整を行い、実物と同じ大きさ・重さにした。



さわれる国宝土偶

○開館5周年記念イベント

(1) 学芸員とめぐる是川遺跡ツアー

期日 平成28年7月9日(土)・7月10日(日)
各日9:30～12:00

経路 是川縄文館→縄文学習館→中居遺跡→
休憩→一王寺遺跡→是川遺跡記念碑→
是川縄文館

参加者 35人(全2回)

概要 学芸員が参加者を引率して、是川縄文館(本館・分館)展示室及び是川遺跡の案内・解説を行った。参加者からは、館や遺跡について詳しく知ることができたと好評の声をいただいた。



遺跡ツアーの様子

(2) 是川縄文館バックヤードツアー

期日 平成28年7月9日(土)・7月10日(日)
各日14:00～16:00

経路 1Fアトリウム展示→1F一般収蔵庫→
1Fバックヤード→2Fバックヤード→
2F常設展示室→1Fホール

参加者 41人(全2回)

概要 学芸員引率のもと、是川縄文館展示室及び一般収蔵庫や整理作業室等のバックヤードの案内・解説を行った。参加者は通常公開していない埋蔵文化財の整理作業に興味深く見学した。



バックヤードツアーの様子

(3) 是川縄文館5周年記念無料開放

期日 平成28年7月10日(日)

来館者 555人

概要 館が5周年を迎える日を記念し、無料開放を実施した。日曜日ということもあり、多くの来館者が訪れた。

(4) いのるんグッズプレゼント

期日 平成 28 年7月 10 日(日)
 会場 是川縄文館 2F受付
 概要 館が5周年を迎える日を記念し、来館者
 先着 50 名におちょこ、シールのいのる
 んグッズをプレゼントした。
 開館前から来館者が並び、開館 20 分ほ
 どでプレゼントが終了した。

(5) 縄文グッズ抽選会

期日 平成 28 年7月 10 日(日)
 会場 是川縄文館 1F体験交流室・受付
 参加者 34 人
 概要 日曜日縄文体験コーナー参加者を対象に、
 縄文グッズの抽選会を実施した。景品は下
 記のとおり。
 1等：合掌土偶
 2等：レリーフ
 3等：展示図録2冊セット
 4等：いのるんグッズ
 5等：縄文ペンダント



グッズ抽選会の様子

5. 定住自立圏広域的体験学習支援事業（はっふる隊）

平成 27 年度から八戸市教育委員会を中心に開始し
 た連携事業。

「発見!ふるさと体験隊」(はっふる隊)という名称の
 もと、八戸圏域定住自立圏(八戸市・三戸町・五戸町・
 田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町)の
 小学校に年1回、貸切バスを無償で活用してもらえるよ
 うにし、圏域内の文化・スポーツ施設での学外研修を
 支援する取り組みである。当館においても市内小学校
 を含め、圏域内の小学校から体験学習・展示見学で
 多く活用されるようになった。

平成 28 年度は、八戸市内 13 校 675 人、市外 9
 校 260 人、計 935 人の児童の体験学習指導、展示
 解説に対応した。引率者を含めた利用者総数は
 1,006 人である。これは、利用された圏域内の文化・
 スポーツ施設の中では2番目に多い利用であり、全体
 (6,041 人)の 15.17%を占める。

月日	学校名	内容	人数(人)
5月27日	南部町立福地小学校6年	見学・体験	18
6月6日	新郷村立戸来小学校6年	見学・体験	16
6月7日	南部町立杉沢小学校5～6年	見学・体験	8
6月10日	おいらせ町立百石小学校6年	見学・体験	62
7月15日	田子町立田子小学校6年	見学・体験	28
9月5日	三戸町立斗川小学校4～6年	見学・体験	24
10月6日	階上町立道仏小学校6年	見学・体験	18
10月25日	階上町立大蛇小学校6年	見学	15
2月2日	五戸町立五戸小学校5年	見学・体験	71
計 9校 260人			

八戸圏域広域的体験学習支援事業
 「発見!ふるさと体験隊(はっふる隊)」
 (三戸郡・おいらせ町) 利用状況

6. 是川時空探検祭!

期日 平成 28 年5月5日(木)
 参加者 80 人

縄文文化への親近感の向上をめざす体験プログラム。
 前年度のはっち AIR (アーティスト イン レジデンス)
 事業「八戸ロマン時空探検隊」で招聘した YORIKO
 氏による企画で、はっちと共同で開催した。分館の屋外
 (中居遺跡)を会場として、①草木染め、②石器で肉



是川時空探検祭③縄文劇場

を切って食す、③縄文劇場!、④縄文ビート!などのプログラムを用意した。アーティストは4月から八戸に滞在し、是川縄文館内でスタッフとプログラムの準備や、会場装飾の準備を共同で行い、当日も各プログラムの運営を担当した。参加者は募集によるもので、親子での参加が大半を占めた。アーティストによって装飾された会場で、調理・演劇・音楽など通常にはないプログラムが体験できたことについて、参加者から満足度の高い感想が寄せられた。

7. 地域連携

○是川縄文隊との連携

是川縄文隊は、是川地域の宝である是川遺跡の保存、活用に寄与するとともに是川縄文館を核とした是川縄文の里の地域振興を図ることを目的に是川地区の中居町内会の有志により平成24年度に設立された。活動等についてはVI-4 是川縄文隊に記載している。

これまで、是川縄文館のPRのほか、地域振興の一環として、来館者へ周辺ガイドマップを配布したほか、是川産直野菜を販売するなど地域のPR活動を行っており、是川遺跡の情報発信や、来館される方がたへのおもてなしの充実が図られている。

○さわやか八戸グッジョブウィークとの連携

八戸市教育委員会を中心とした、市内公立中学校の2年生を対象に実施している職場体験事業。是川縄文館では、中学生からの要望があった際にできる限り応じ、学芸員としての業務の体験を実施している。

平成28年度は2校4名の中学生の要望を受け入れ、学芸業務の基本となる出土品整理や出土品・図書データベースの構築支援の体験を実施した。

8. 世界文化遺産登録へ向けた取り組み

○世界遺産文化登録へ向けた活動

八戸市は、北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県14市町による共同推進体制の一員として、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界遺産登録を目指している。当市の構成資産は、是川石器時代遺跡である。直近の機会での推薦・登録を目指し、推薦書案についての検討作業のほか、保存管理体制の検討を行っている。世界文化遺産登録には市民の理解が不可欠であるため、縄文遺跡群の内容を紹介したパネル展や登録推進フォーラムへの協力、ロゴマークの積極的な活用を行い、PRに努めている。

○縄文遺跡群パネル展

開催期間 ①8月21日(日)～10月4日(水) ②10月8日(土)～10月10日(月)

開催場所 ①是川縄文館分館(縄文学習館) ②八食わくわくフェスタ(八食センター)

概要 「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の概要説明、構成資産位置図、各構成資産の概要についてのA1版パネルを掲示した。②は、体験学習とともに、縄文文化の普及活動として取組んだ。



八食わくわくフェスタ



縄文遺跡群パネル展(分館)

9. 調査研究

(1) 共同研究

【第2期共同研究】

是川縄文館では、大学等の研究機関との共同研究を事業の1つとして掲げている。これは、共通のテーマを研究機関と連携して多角的に追究し、学術的に質の高い情報を企画展や講座等の場へ利活用することを目的としたものである。

平成23年度(2011)から3か年計画で東京大学大学院環境史研究室との第1期共同研究を行った。縄文時代前半期の環境変動と集落生態系の復原をテーマに、古八戸湾や十和田火山の巨大噴火を背景とする縄文人の生態系やその変化を明らかにした。

その中で、縄文時代後半期の復原も追究し、八戸地域の通時的な環境史、生態系史を明らかにしていく必要性を、東京大学・是川縄文館とで認識を共有するに至った。

第2期共同研究では第1期の成果に続き、とくに植物資源の利用に重点を置きつつ、縄文時代後半期における環境変動と集落生態系の復原を目指し、総じて八戸地域の過去一万年間の環境変動と集落生態系について検討した。

- 共同研究テーマ 『八戸地域における縄文時代中期から晩期の環境変動と集落生態系の復原』
- 研究期間 2016年4月～2017年3月(2014年～2016年度の3か年計画の3年目)
- 研究体制 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻 環境史研究室
(辻 誠一郎 教授)
古代の森研究舎(吉川 昌伸 氏・吉川 純子 氏)
株式会社 パレオ・ラボ(鈴木 茂 氏・安 昭炫 氏)
上高津貝塚ふるさと歴史の広場(一木 絵理 学芸員)
考古復元イメージイラストレーター・アーティスト(安芸 早穂子 氏)
東京大学空間情報科学研究センター(早川 裕弌 准教授)
国立科学博物館(植田 弥生 研究員)

○研究活動等

- ① 2016年5月30日～5月31日 第1回共同研究打合せ
(於：是川縄文館・是川遺跡・風張(1)遺跡、遺跡巡検、共同研究会)
- ② 2016年9月24日～9月25日 第2回共同研究打合せ
(於：是川縄文館・一王寺(1)遺跡、土壌サンプル採取、UAVによる空間計測、共同研究会)
※2016年11月4日 関連活動(於重地遺跡、土壌サンプル採取)
- ③ 2017年1月28日～1月29日 第3回共同研究打合せ
(於：東京大学、共同研究会・3年目総括、研究・展示計画の協議)

○関連活動

- ・八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館研究紀要第6号
「八戸地域の縄文前期～晩期の景観に関する新資料」
(辻 誠一郎・吉川 昌伸・吉川 純子・植田 弥生・
鈴木 茂・安 昭炫・横山 寛剛・市川 健夫・西村 広経)
「青森県域における縄文時代後半期の放射性炭素年代
値集成」(西村 広経・市川 健夫)

※なお、第1期共同研究の成果の一部である下記の論文が第四紀学会奨励賞を受賞した。

第四紀研究 54(5)「青森県八戸市の縄文時代早期貝塚出土試料の14C年代と海洋リザーバー効果」
(一木 絵理・辻 誠一郎・杉山 陽亮・村木 淳・宇部 則保・中村 俊夫)



共同研究における遺跡土壌サンプルの採取

(2) 学芸員の研究等業績：平成28年4月～平成29年3月

【論文等】

平成28年5月

市川健夫 「縄文時代 東北」『考古学ジャーナル』

684 ニューサイエンス社

市川健夫 「2016年縄文時代関係文献目録」『縄文時代』27 縄文時代文化研究会（分担協力）

西村広経 「縄文時代」『史学雑誌』125 編5号
史学会

平成28年7月

市川健夫 『開館5周年記念特別展図録 山の縄文世界 - 中部高地の縄文時代 -』八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

平成28年10月

上ノ山拓己・市川健夫・小久保拓也 『秋季企画展図録 馬淵川流域の縄文時代』八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

市川健夫 「縄文晩期～弥生の土製品・石製品」『日本考古学協会 2016年度弘前大会 研究発表要旨』日本考古学協会

市川健夫 「縄文晩期～弥生の土製品・石製品」『日本考古学協会 2016年度弘前大会 第I分科会「津軽海峡圏の縄文文化」研究報告資料集』日本考古学協会 2016年度弘前大会実行委員会

宇部則保 「趣旨説明」・「奥入瀬川流域遺跡群」『日本考古学協会 2016年度弘前大会 第II分科会「北東北9・10世紀の変動」研究報告資料集』日本考古学協会 2016年度弘前大会実行委員会

船場昌子 「馬淵川下流域の9～10世紀の古代集落」同上

船場昌子 「八戸城跡」『日本考古学協会 2016年度弘前大会 第III分科会「北日本における近世城郭」研究報告資料集』日本考古学協会 2016年度弘前大会実行委員会

平成28年11月

横山寛剛 「一王寺(1)遺跡」『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 平成28年度遺跡調査報告会 資料集』

苧坪祐樹 「田面木遺跡」同上

平成28年12月

横山寛剛 「一王寺(1)遺跡」『平成28年度青森県埋蔵文化財遺跡調査報告会 資料集』

平成29年3月

辻誠一郎・吉川昌伸・吉川純子・植田弥生・鈴木茂・安昭炫・横山寛剛・市川健夫・西村広経

「八戸地域の縄文前期～晩期の景観に関する新資料」『研究紀要』6 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

西村広経・市川健夫 「青森県域における縄文時代後半期の放射性炭素年代値集成」同上

小久保拓也 「合掌土偶の内部構造」同上

村木 淳 「白浜遺跡・下松苗場遺跡・小舟渡平遺跡・帽子屋敷貝塚」・「長七谷地遺跡群」・「見立山(2)遺跡」・「新井田古館遺跡」・「牛ヶ沢(4)遺跡」・「日計遺跡」・「小板橋(2)遺跡」・「熊ノ林遺跡」『青森県史 資料編 考古1』

工藤竹久・小久保拓也 「一王寺(1)遺跡(前期・中期)」同上

船場昌子 「田向冷水遺跡」・「田代遺跡」同上

【学会発表等】

平成28年7月

小久保拓也 「漆の宝庫 - 是川石器時代遺跡 -」『さんまる縄文学講座』

平成28年8月

市川健夫 「漆文化の魅力 - 是川遺跡で育まれた文化とくらし -」『下長公民館 是川遺跡講座』

平成28年10月

市川健夫 「縄文晩期～弥生の土製品・石製品」『日本考古学協会 2016年度弘前大会 第I分科会「津軽海峡圏の縄文文化」』

平成28年11月

横山寛剛 「一王寺(1)遺跡」『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 平成28年度遺跡調査報告会』

苧坪祐樹 「田面木遺跡」同上

上ノ山拓己 「馬淵川流域の縄文時代」同上

小久保拓也 「縄文語のはじまり」『はっち市 2016 - ちっちゃな街のまなび舎 -』

平成28年12月

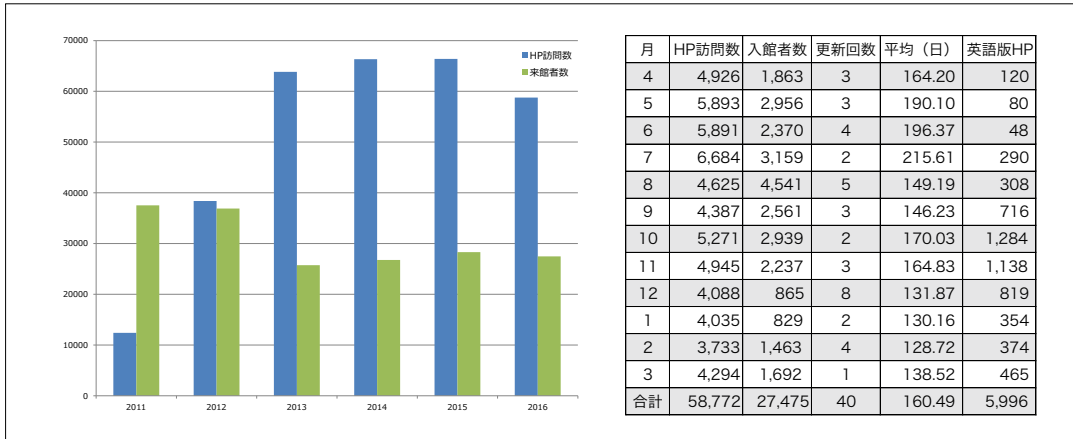
横山寛剛 「一王寺(1)遺跡」『平成28年度青森県埋蔵文化財遺跡調査報告会』

10. 広報・情報発信

館事業の広報および情報発信事業を下記のとおり行った。

①ホームページ

インターネットを利用した広報・情報発信としてホームページを開設している。各職員によるコンテンツの更新が簡便にできるよう、CMSを使用し、管理を外部委託している。28年度にスマートフォンなどに対応するリニューアルを行った。ホームページ訪問者数は前年より微増し、1日あたりの平均訪問者数は181.3人（平成27年4月～平成28年3月まで）であった。



ホームページ訪問者数と更新回数

②広報はちのへ「いのるん通信」

是川縄文館の体験学習や発掘調査などの活動について、参加者にインタビューし、内容を紹介します。市広報誌において隔月連載（5・7・9・11・1・3月号）。97,800部発行



いのるん通信（第21回）

③広告掲載

特別展および秋季企画展開催を周知するため、地元新聞等に広告を掲載した。

- ・特別展開催案内広告「山の縄文世界」
デーリー東北新聞社（7/14,16,31）朝刊、東奥日報社（7/15・31朝刊）、岩手日報社・秋田魁新報社（7/15朝刊）、情報羅針盤コンパス（7/7発行）
- ・企画展開催案内広告「馬淵川流域の縄文時代」
デーリー東北新聞社（9/30,10/7, 10/13朝刊）、北海道新聞（10/7朝刊）、東奥日報社・岩手日報社・秋田魁新報社（9/30朝刊）、情報羅針盤コンパス（9/8発行）

④新聞記事

企画展・特別展をテーマとした記事を職員が作成し、開催期間に合わせてデーリー東北新聞社に掲載した。（春季企画展 5/8・5/22・5/29, 特別展 8/5, 秋季企画展 10/23・10/30）



特別展連載記事（デーリー東北新聞）

⑤新聞連載記事「遺跡！土器！ドキッ！」

デーリー東北新聞社が発行する小中学生向け新聞「週間DJ」に「遺跡！土器！ドキッ！」と題した連載記事を平成28年5月から9月の22回にわたり掲載した。

八戸地域の縄文文化に関することや、企画展・特別展などの是川縄文館イベントといったトピックをわかりやすく解説し、読者から好評を得た。

⑥BeFM「施設ガイド」

地元コミュニティラジオの施設ガイドで、是川縄文館のイベント情報について紹介した(2ヶ月に1度)。



遺跡！土器！ドキッ！（デーリー東北新聞社「週刊DJ」）

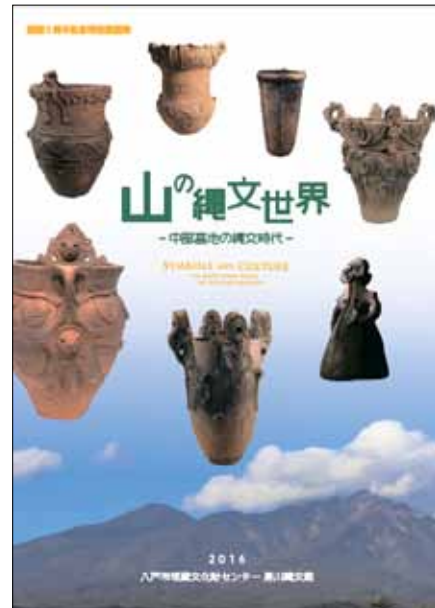
⑦図録等刊行

研究紀要のほか、企画展示について下記の図録を刊行した。図録については館内ミュージアムショップで頒布している。

「掘り day はちのへ - 八戸市埋蔵文化財ニュース -」18号 A4版カラー

特別展図録「山の縄文世界 - 中部高地の縄文時代 -」A4版カラー

企画展図録「馬淵川流域の縄文時代」A4版カラー
「研究紀要」第6号 A4版モノクロ



特別展図録「山の縄文世界」

11. ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」

「これカフェ」は、八戸縄文保存協会が運営している。

①ミュージアムショップ

国宝「合掌土偶」をデザインしたグッズ、アクセサリー、お菓子のほか、縄文時代をテーマとしたグッズ等を多数販売している。また、一般書店では販売していない当館の常設展示図録や特別展等の図録なども販売している。平成28年度は、是川が柿の里であることから、冬季限定で干し柿の販売を行った。

【商品一例】ポストカード、マグカップ、キーホルダー、ストラップ、Tシャツ、当館キャラクター「いのるん」グッズ(文房具、ラグビージャージ着用風貯金箱など)、土偶及び土器などのレプリカ、お菓子(クッキー、人形焼、せんべいなど)、当館刊行物、考古学関連書籍等。

②喫茶コーナー

古代米を使用した「縄文カレー」や縄文時代に食されていたと考えられるドングリを使用した「縄文らーめん」のほか、クルミ、ナッツ、ドングリを合わせた「縄文ソフトクリーム」などを提供している。



ミュージアムショップ

III
教育普及等

IV 埋蔵文化財調査等

1. 発掘調査事業概要

八戸市には、489か所の周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、遺跡）が存在する。遺跡内で開発行為を行う場合、文化財保護法93条（国又は地方公共団体等が開発主体の場合、同94条）が適用され、事前に八戸市教育委員会社会教育課と協議のうえ、工事着手の60日前までに遺跡内の工事に係る届出（通知）書の提出が必要となる。受理された届出により、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、まず遺跡の現状を把握し、必要に応じて試掘調査を行う。試掘調査の結果、開発行為により遺跡が破壊されると判断した場合、本発掘調査により遺跡を記録保存するなどの保護処置をとっている。

また、開発行為が行われる対象地が遺跡の範囲外であっても、遺跡に隣接する場合または掘削が広範囲に及ぶ場合は文化財保護法99条に基づき、遺跡の範囲確認のための試掘調査（範囲確認調査）を行う場合がある。調査の結果、開発対象地で遺構・遺物が発見された場合、遺跡の範囲変更または新規の遺跡登録を行っている。

ただし、開発行為による掘削範囲が狭小であり、地下への影響が軽微であると判断される場合、事前の試掘調査を行わず、工事立会で対応する場合がある。

八戸市内には長七谷地貝塚・是川石器時代遺跡・丹後平古墳群・根城跡の4か所の国指定史跡がある。開発行為がこれら指定地内で行われる場合、事前に八戸市教育委員会社会教育課と協議のうえ、現状変更等許可申請書の提出が必要となる。申請を受け、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、開発行為による史跡指定地の地下遺構への影響を判断するため、遺構の有無や遺構検出面までの堆積状況を確認する確認調査を行っている。なお、史跡指定地内においては軽微な開発行為であっても、現状変更等許可申請書の提出が必要となる。

(1) 平成28年度の発掘調査

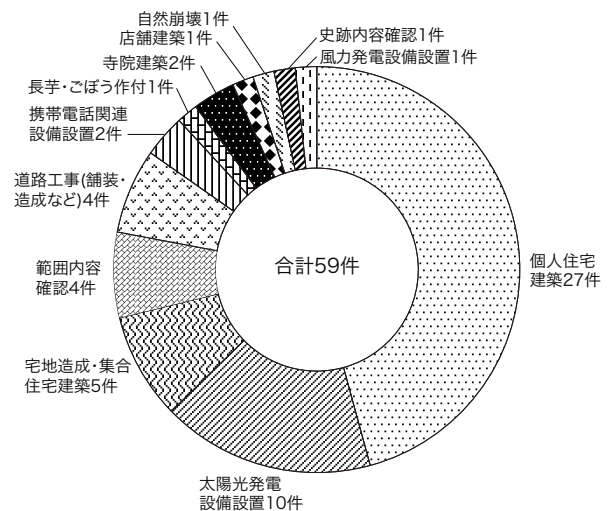
平成28年度は、31か所の遺跡で計59件の発掘調査を実施した。調査種類の内訳は試掘調査47件、史跡現状変更判断に伴う確認調査1件、本発掘調査11件（試掘後の本調査を含む）である。

調査原因の種類別では、個人住宅建築（店舗兼個人住宅・個人住宅増築含む）27件、太陽光発電設備設置10件、宅地造成・集合

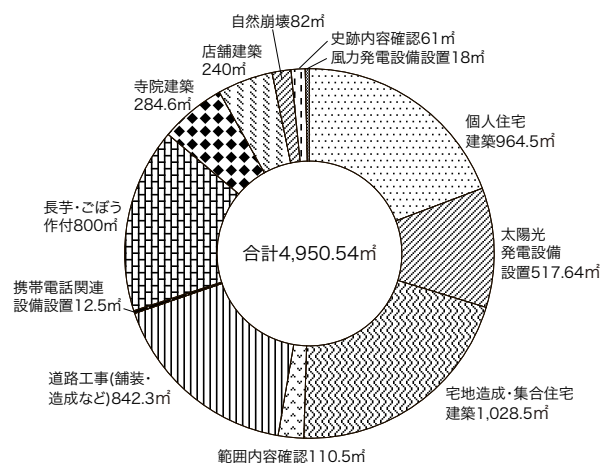
住宅建築5件、道路工事（造成・拡幅・改良・舗装）4件、範囲・内容確認調査4件、携帯電話関連施設設置2件、その他、長芋・ごぼう作付・寺院建築・店舗建築・自然崩壊・風力発電設備設置・史跡内容確認調査が各1件である。

発掘調査の件数は、個人住宅建築に伴う件数が最も多く、全体の45%に及ぶ。太陽光発電設備設置がそれに次ぎ、個人住宅建築と合わせると全件数の約6割に及ぶ。

一方調査面積では、宅地造成・集合住宅建築によるものが最も多く、個人住宅建築に伴うものがこれに次ぐ。



平成28年度調査原因ごとの発掘件数内訳



平成28年度調査原因ごとの調査面積内訳

(2) 過年度との比較

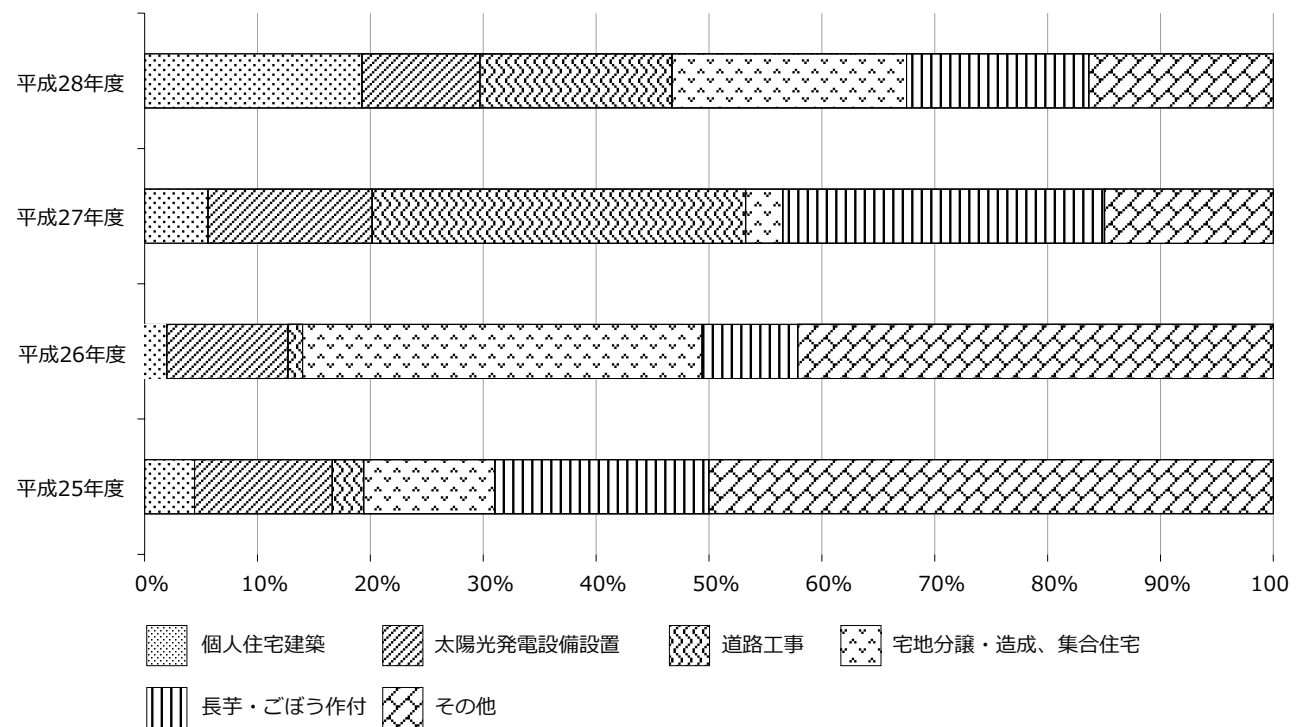
平成28年度の届出数・調査面積を過去3年間のものと比較すると、届出件数は平成25年度と並んで多いが、調査面積は最も少ない。特に調査面積は、最も多かった平成26年度の約3分の1まで減少している。

要因としては、県道沼館三日町線整備に伴う八戸城跡をはじめとする受託事業の本発掘調査が、比較的狭い調査面積で終了したためである。

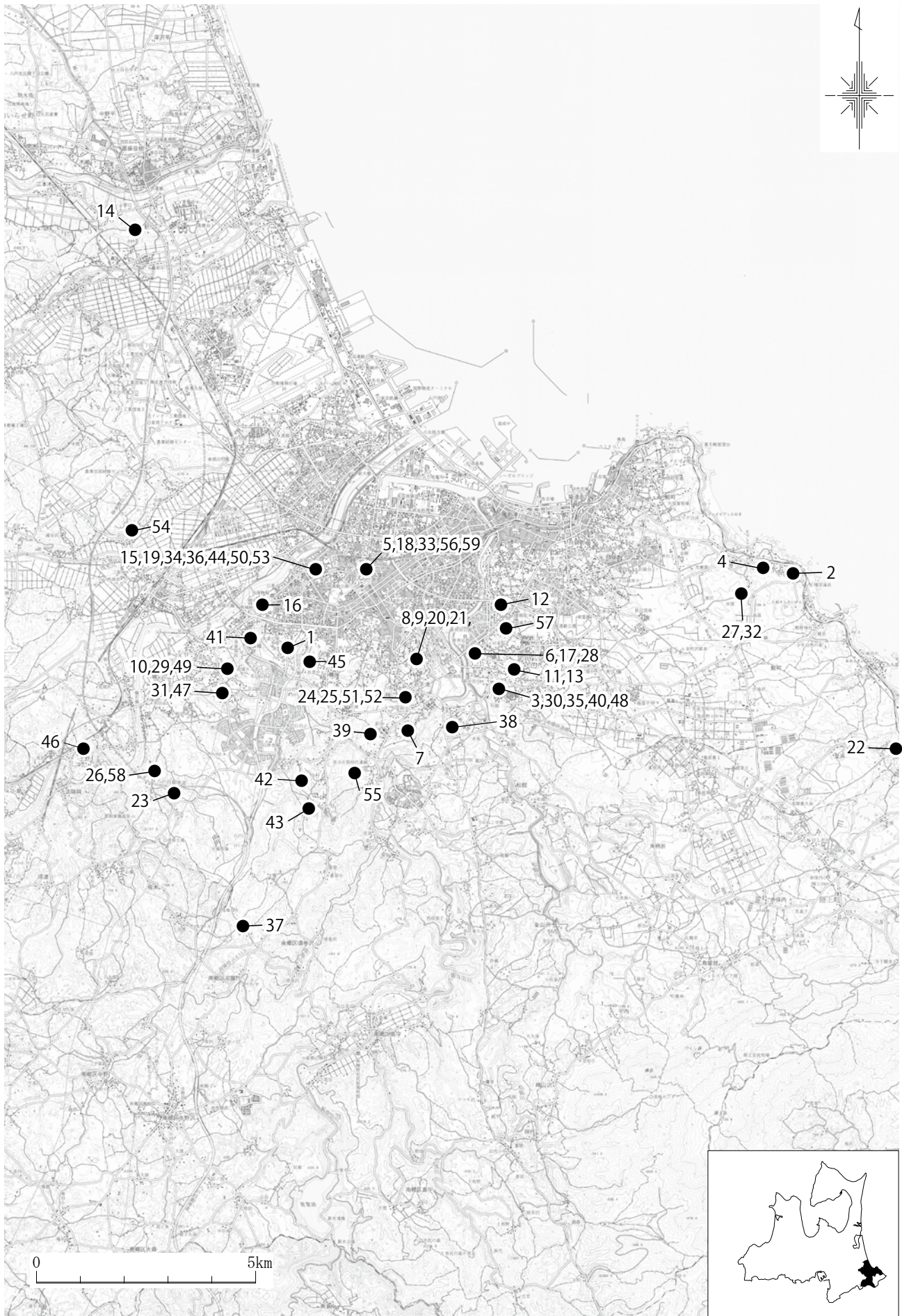
文化財保護の観点から、大規模な面積の掘削を伴う工事等が埋蔵文化財包蔵地に及ぶ件数が減少していることは、望ましい傾向である。

調査原因	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)
個人住宅建築	26	1,304.92	15	294.75	21	624.58	27	953.50
太陽光発電設備設置	3	3,604.00	8	1,610.50	9	1,616.45	10	517.64
道路工事	4	822.00	5	192.30	4	3,679.00	4	842.30
宅地分譲・造成、集合住宅	4	3,431.50	8	5,308.50	2	366.76	5	1,028.50
長芋・ごぼう作付	0	0	2	1,270.00	2	3,170.00	1	800.00
その他	17	5,599.65	10	6,315.20	9	1,660.50	12	808.60
合計	54	14,762.07	48	14,991.25	47	11,117.29	59	4,950.54

平成25～28年度の調査原因件数と調査面積の内訳



平成25～28年度の調査原因ごとの調査面積の推移



平成 28 年度八戸市内発掘調査位置図 (S : 13 万分の 1)

No.	遺跡名	調査	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	種別／主な時代
1	鹿島沢古墳	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 4 月 6 日	10	古墳／奈良・平安
2	中道遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	平成 28 年 4 月 7～14 日	150	散布地／縄文
3	市子林遺跡 第 21 地点	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 4 月 8～11 日	67.5	集落跡／縄文・古墳～近世
4	舟渡ノ上遺跡 第 3 地点	試掘調査	太陽光発電設備設置	平成 28 年 4 月 14 日	12	散布地／縄文
5	八戸城跡	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 4 月 15 日	21	城館跡／近世
6	新井田古館遺跡隣接地	試掘調査	範囲確認	平成 28 年 4 月 18 日	28.5	集落跡・城館跡／縄文・奈良～近世
7	石手洗遺跡	試掘調査	内容確認	平成 28 年 4 月 19 日	30	集落跡／縄文
8	雷遺跡	試掘調査	集合住宅建築	平成 28 年 4 月 20・21 日	193	散布地／縄文・平安
9	雷遺跡 第 3 地点	試掘調査	集合住宅建築	平成 28 年 4 月 20～28 日	240	散布地／縄文・平安
10	田面木遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 4 月 25 日	14.8	集落跡／縄文・弥生・奈良・平安
11	石橋遺跡	試掘調査	宅地造成工事	平成 28 年 5 月 16～19 日	212	集落跡／平安
12	塩入遺跡	試掘調査	店舗建築工事	平成 28 年 5 月 25～27 日	240	散布地／縄文・平安
13	石橋遺跡 第 8 地点	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 5 月 30 日	75	集落跡／平安
14	稲荷後 (3) 遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 6 月 2・3 日	47.5	散布地／縄文
15	熊野堂遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 6 月 7 日	15	集落跡／縄文・奈良・平安
16	根城跡	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 6 月 15 日	5	城館跡／中世
17	新井田古館遺跡隣接地	試掘調査	範囲確認	平成 28 年 6 月 24 日	25	集落跡・城館跡／縄文・奈良～近世
18	八戸城跡 第 35 地点	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 7 月 7 日	24	城館跡／近世
19	熊野堂遺跡 第 3 地点	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 7 月 8 日	43.5	集落跡／縄文・奈良・平安
20	雷遺跡 第 4 地点	試掘調査	集合住宅建築	平成 28 年 7 月 13・14 日	143.5	散布地／縄文・平安
21	雷遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 7 月 28・29 日	24	散布地／縄文・平安
22	前川目遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 8 月 1 日	18	散布地／縄文
23	法領屋敷遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	平成 28 年 8 月 2～4 日	12	散布地／縄文
24	駒ヶ沢遺跡 第 3 地点	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 8 月 18 日	29	集落跡／縄文
25	駒ヶ沢遺跡 第 4 地点	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 8 月 18 日	33.9	集落跡／縄文
26	柳引遺跡 第 5 地点	試掘調査	寺院建築	平成 28 年 8 月 18・19 日	54.6	集落跡／縄文
27	神子沢久保 (1) 遺跡	試掘調査	風力発電設備設置	平成 28 年 8 月 19 日	18	散布地／縄文
28	新井田古館遺跡隣接地	試掘調査	範囲確認	平成 28 年 9 月 1 日	27	集落跡・城館跡／縄文・奈良～近世
29	田面木遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 9 月 2～7 日	18	集落跡／縄文・弥生・奈良・平安
30	市子林遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 9 月 14 日	15	集落跡／縄文・古墳～近世
31	酒美平遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 9 月 15・16 日	16	集落跡／縄文・平安
32	神子沢久保 (1) 遺跡隣接地	試掘調査	太陽光発電設備設置	平成 28 年 9 月 16 日	9	散布地／縄文
33	八戸城跡	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 9 月 20 日	16	城館跡／近世
34	熊野堂遺跡 第 4 地点	試掘調査	個人住宅増築	平成 28 年 9 月 21・23 日	11	集落跡／縄文・奈良・平安
35	市子林遺跡	試掘調査	道路造成工事	平成 28 年 10 月 4 日	19.5	集落跡／縄文・古墳～近世
36	熊野堂遺跡 第 5 地点	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 10 月 21 日	20	集落跡／縄文・奈良・平安
37	鴨平 (3) 遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	平成 28 年 10 月 28 日	44	散布地／縄文
38	松ヶ崎遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	平成 28 年 11 月 7・8 日	33	集落跡／縄文
39	新田遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	平成 28 年 11 月 9～11 日	115	集落跡／縄文・奈良
40	市子林遺跡	試掘調査	店舗兼個人住宅	平成 28 年 11 月 18 日	2.3	集落跡／縄文・古墳～近世
41	松長根遺跡	試掘調査	個人住宅建築	平成 28 年 11 月 18 日	1	散布地／縄文
42	坊坂遺跡	試掘調査	携帯電話基地局・中継施設建設	平成 28 年 12 月 7 日	5	散布地／縄文
43	天狗沢遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	平成 28 年 12 月 8 日	10	散布地／縄文・平安
44	熊野堂遺跡 第 6 地点	試掘調査	道路拡幅工事	平成 28 年 12 月 21 日	22.8	集落跡／縄文・奈良・平安
45	休場遺跡	試掘調査	携帯電話通信設備設置	平成 29 年 1 月 11 日	7.5	散布地／縄文・平安
46	沢ノ上遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	平成 29 年 3 月 14 日	80.32	集落跡／弥生・奈良・平安
47	酒美平遺跡	試掘調査	太陽光発電設備設置	平成 29 年 3 月 16 日	52.32	集落跡／縄文・平安
48	市子林遺跡 第 21 地点	本調査	個人住宅建築	平成 28 年 5 月 10～20 日	173.6	集落跡／縄文・古墳～近世
49	田面木遺跡 第 49 地点	本調査	長芋・牛蒡作付け	平成 28 年 7 月 1 日～9 月 9 日	800	集落跡／縄文・弥生・奈良・平安
50	熊野堂遺跡 第 3 地点	本調査	個人住宅建築	平成 28 年 7 月 19 日～8 月 12 日	140	集落跡／縄文・奈良・平安
51	駒ヶ沢遺跡 第 3 地点	本調査	個人住宅建築	平成 28 年 9 月 2 日	29	集落跡／縄文
52	駒ヶ沢遺跡 第 4 地点	本調査	個人住宅建築	平成 28 年 9 月 2 日	33.9	集落跡／縄文
53	熊野堂遺跡 第 5 地点	本調査	個人住宅建築	平成 28 年 11 月 14 日～12 月 7 日	49.5	集落跡／縄文・奈良・平安
54	林ノ前遺跡	本調査	自然崩壊	平成 28 年 6 月 6～22 日	82	集落跡／縄文・平安
55	一王寺 (1) 遺跡	本調査	史跡内容確認	平成 28 年 8 月 22 日～10 月 31 日	61	集落跡／縄文
56	八戸城跡	本調査	道路改良工事	平成 28 年 9 月 20 日～10 月 31 日	400	城館跡／近世
57	重地遺跡	本調査	集合住宅建築	平成 28 年 10 月 6 日～11 月 11 日	240	集落跡／縄文
58	柳引遺跡	本調査	寺院建築	平成 28 年 11 月 2 日～11 月 30 日	230	集落跡／縄文
59	八戸城跡	本調査	道路舗装工事	平成 28 年 11 月 7 日～11 月 30 日	400	城館跡／近世
計 3,680.54 ㎡						

市内遺跡発掘調査事業

受託事業

平成 28 年度八戸市内遺跡発掘調査一覧

2. 調査概要

(1) 主な試掘調査

①舟渡ノ上遺跡第3地点 (p25-No.4)

調査地：八戸市大字鮫町字舟渡ノ上 15-1

担当職員：杉山 陽亮

検出遺構：竪穴建物跡 1 棟

出土遺物：縄文土器深鉢（赤御堂式土器）

調査概要：試掘調査において遺構の可能性のある黒色土を検出し、精査したところ縄文時代早期後葉の赤御堂式土器が出土した。このことから、黒色土は竪穴建物跡の埋土と考えられる。当遺跡で縄文時代早期の遺構が確認されたのは初めてであり、大きな成果を得ることができた。



縄文時代早期の竪穴建物跡



竪穴建物跡から出土した早期の土器

②石橋遺跡第8地点 (p25-No.13)

調査地：八戸市大字新井田字妻ノ神 1-1

担当職員：苧坪 祐樹

検出遺構：溝状土坑 1 基

出土遺物：なし

調査概要：個人住宅建築に伴う試掘調査において、縄文時代の溝状土坑 1 基を検出した。遺構を検出したのは簡易舗装予定の範囲内であるため、掘削は遺構確認面に達しないことから調査を終了した。本遺跡ではこれまでの調査においても溝状土坑が検出されているが、今回の調査で遺跡の西側にも溝状土坑が広がることを確認できた。



溝状土坑（陥し穴）検出状況

③雷遺跡第3地点 (p25-No.9)

調査地：八戸市大字中居林字雷 21

担当職員：小笠原 善範

検出遺構：溝跡

出土遺物：縄文土器（十腰内 I 式）

調査概要：集合住宅建築に伴い試掘調査を行ったところ、縄文時代後期前葉の鉢形土器がほぼ完形で出土した。本遺跡のこれまでの調査では、主に古代の遺構・遺物が検出されている。今回の調査により、本遺跡に縄文時代の遺物包含層が存在することが明らかとなった。



縄文時代後期前葉の鉢形土器

④雷遺跡第4地点 (p25-No.20)

調査地：八戸市大字中居林字雷 11-1

担当職員：西村 広経

検出遺構：竪穴建物跡、土坑、溝跡、溝状土坑

出土遺物：土師器・陶磁器・土製品

調査概要：集合住宅建築に伴い試掘調査を行ったところ、竪穴建物跡をはじめ、多数の遺構を検出した。竪穴建物跡の1棟は検出した範囲で長さ8mを測り、埋土から土製紡錘車が出土した。今後の調査成果が期待される。



古代の竪穴建物跡検出状況



土製紡錘車

⑤熊野堂遺跡第4地点 (p25-No.34)

調査地：八戸市長根二丁目 12-12、17・18号

担当職員：苧坪 祐樹

検出遺構：溝跡 性格不明遺構

出土遺物：土師器・陶磁器・土製品

調査概要：個人住宅建築に伴い試掘調査を行ったところ、土師器甕・須恵器甕を含む黒褐色土の広がりを検出した。性格不明遺構としたが、堆積土の特徴や本遺跡のこれまでの調査履歴から、古代の遺構である可能性が高い。



古代の遺構の埋土とみられる黒褐色土

⑥熊野堂遺跡第6地点 (p25-No.44)

調査地：八戸市大字売市字新坂平地内

担当職員：村木 淳

検出遺構：竪穴建物跡、土坑、溝跡、ピット

出土遺物：なし

調査概要：本地点は平成26年度に実施された熊野堂遺跡第2地点の東側に位置する。2地点の調査では、竪穴建物跡・土坑など多数の遺構が重複して検出されている。

道路拡幅工事に伴い4箇所の特レンチを設定して試掘調査を行ったところ、すべての特レンチから遺構が検出された。これらは2地点の集落跡と一連のものとみられる。試掘調査の結果より、工事に先立ち次年度に本発掘調査が行われることとなった。



試掘調査地点遠景

(2) 本発掘調査

①田面木遺跡第49地点 (p25-No.49)

調査地：八戸市大字田面木字山道下タ28-1の一部・28-2の一部

担当職員：苧坪 祐樹・小笠原 善範

検出遺構：竪穴建物跡11棟、炉跡1基、土坑6基、溝状土坑2基

出土遺物：土師器、須恵器、土製品、石製品、鉄製品

調査概要：

ア．遺跡の概要

八戸市田面木地区に所在し、馬淵川右岸の標高25～50mの丘陵地に位置する。遺跡は東西約400m、南北約800mの規模を有する。宅地化が急速に進んだ昭和62(1987)年以降に、開発に伴う発掘調査を断続的に行っており、これまでの調査により縄文時代から古代までの遺構・遺物が多数検出されている。

イ．調査に至る経緯

調査対象地は遺跡の北西側に位置し、調査原因は長芋・ごぼう作付けに伴うものである。平成25年度に試掘調査を実施し、古代の遺構・遺物を多数確認したことから、届出者と協議し、平成26年度より複数年での本調査を実施しており、本地点は3か年目となる。全調査対象面積は5,890㎡で、平成26年度：第43地点1,100㎡、平成27年度：第47地点2,000㎡、平成28年度：第49地点800㎡の本調査を実施した。調査期間は平成28年7月1日～9月9日である。なお、平成30年度に1,990㎡の本調査を予定しており、全対象面積の調査が完了する見込みである。

ウ．検出遺構

飛鳥時代の竪穴建物跡1棟、平安時代の竪穴建物跡10棟、炉跡1基、土坑6基、溝状土坑2基を検出した。

エ．出土遺物

遺物は、土師器、須恵器、土製品（紡錘車等）、石製品（砥石等）、鉄製品（馬具・刀子・鎌等）等が出土している。

また、平成28年度発掘調査で竪穴建物跡から出土した須恵器片が、平成26年度発掘調査で別の竪穴建物跡からみつかった須恵器片と同一個体であり、平安時代の須恵器壺が復元できた。この2つの竪穴住居跡は約100m離れており、土に埋まる時に偶然に混入したのではなく、そこに居住していた人びとが何らかの理由で意図的に残したものとみられる。

オ．調査成果

これまで3か年の調査の出土土器を精査すると、断続的ではあるが、飛鳥・奈良・平安時代（7世紀中葉～10世紀前半）の長期間にわたり集落が営まれていたことがわかってきた。特に、平安時代には竪穴建物跡の数が多くなり、平成28年度の発掘調査では11棟中10棟が平安時代であった。この時代の田面木遺跡の集落は大きくなり、人口の増加があったことが想定できる。また、平安時代には前述の須恵器に代表される外地の影響や搬入を受けた遺物が多くなり、周辺地域の拠点的な集落として対外的な交流をもつ集落だったことも明らかになってきた。



田面木遺跡第49地点 全体写真



復元した須恵器壺



28年度調査区(49地点)

27年度調査区(47地点)

26年度調査区(43地点)

田面木遺跡第43・47・49地点 遺構配置図

②八戸城跡第36地点 (p25-No.56)

調査地：八戸市内丸二丁目16-1外地内

担当職員：苧坪 祐樹

検出遺構：竪穴建物跡5棟、土坑2基、溝状土坑3基、溝跡3条、柱穴多数

出土遺物：縄文土器、土師器、石製品、動物遺存体

調査概要：

ア．遺跡の概要

八戸城跡は、八戸市内丸に位置する江戸時代の城跡を中心とする遺跡である。これまでの調査によって、縄文時代・弥生時代・奈良時代・平安時代・江戸時代の遺構・遺物が検出されている。八戸城は、現在の三八城神社・三八城公園・八戸市公会堂が位置する本丸と、八戸市庁・南部会館・竈神社等が位置する二ノ丸から構成されている。寛永6年(1629)、盛岡藩の代官所として築城されたと伝えられ、寛文4年(1664)に八戸藩が成立した際に、藩主の居城・藩庁と定められた。その後、明治4年(1871)の廃藩置県によって廃城となり、取り壊されるまで、八戸藩二万石の居城として使用された。二ノ丸は、法霊社(竈神社)・八幡宮・豊山寺といった社寺のほか、一族・重臣の屋敷地となっていた。

イ．調査に至る経緯

平成27年3月5日付けで、三八地域県民局から都市計画道路3・5・1号沼館三日町線整備工事に伴う八戸城跡発掘調査の届けが提出された。青森県文化財保護課より八戸市教育委員会に依頼があり、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館が調査を行うこととし、委託者である三八地域県民局と契約を締結した。平成31年度までに発掘調査及びその報告書作成を実施する予定である。

平成27・28年度は二ノ丸北側にあたる部分を

調査しており、平成28年度は約400㎡を平成28年9月20日～年10月31日の期間で調査を実施した。

ウ．検出遺構

縄文時代の溝状土坑2基、古代の竪穴建物跡5棟、土坑2基、溝跡3条、近世の柱穴多数を検出した。

エ．出土遺物

縄文土器、土師器、石製品(砥石等)、動物遺存体(馬歯)が出土している。

オ．調査成果

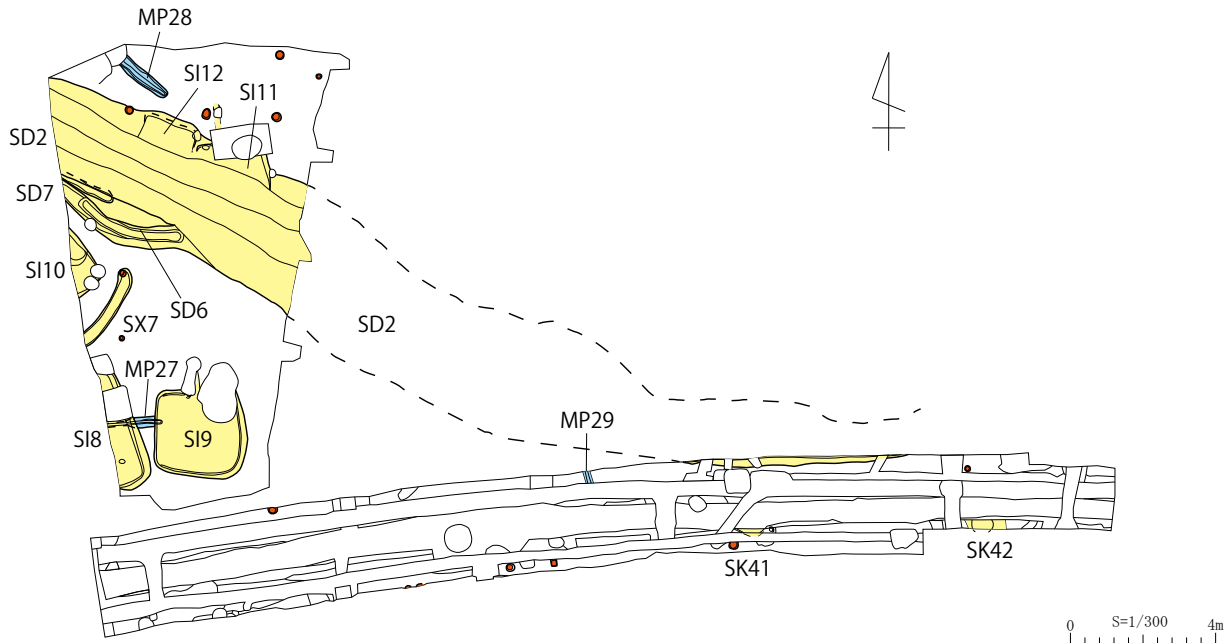
今回の調査で竪穴建物跡SI9から出土した土師器壺は、飛鳥・奈良時代(7・8世紀)のものと思われる。溝跡SD2は平成27年度に調査した2区で検出したものと連続したものである。出土遺物は少ないが、平安時代の竪穴住居跡を壊していることから、それ以降に帰属する可能性が高い。なお、近世に帰属する遺物は出土しておらず、八戸城が機能していた時期において利用が少ない空間であったとみられる。



飛鳥・奈良時代の竪穴建物跡



平安時代の溝跡



八戸城跡第 36 地点 遺構配置図

③八戸城跡第 37 地点 (p25-No.59)

調査地：八戸市内丸一丁目地内

担当職員：小笠原 善範

検出遺構：竪穴建物跡、堀跡、土塁、溝跡、溝状土坑

出土遺物：陶磁器、瓦、鉄製品、鉄滓、青銅製品、銭貨

調査概要：

本八戸駅通り整備事業(道路舗装工事)に伴い、調査区を1・2・3区に分けて試掘調査を行い、遺構の分布を確認できた2・3区について本発掘調査を行った。

今回の調査では、2区で平成8年度に発掘調査を行った本遺跡第10地点で検出された土塁跡(10SF1)、堀跡(10SD13)と溝跡(10SD11)の

未調査部分の調査を行った。

調査の結果、土層の堆積状況から堀跡を埋め戻した後に土塁を構築した状況を確認し、江戸時代の八戸城内の空間利用の変遷を伺うことができた。また、3区でも近世の竪穴建物跡、溝跡、縄文時代の溝状土坑を検出した。



掘跡完掘状況 (南から)



出土した近世の陶器蓋

④熊野堂遺跡第3地点 (p25-No.50)

調査地：八戸市長根二丁目6-5

担当職員：横山 寛剛

検出遺構：掘立柱建物跡1棟、竪穴建物跡10棟、土坑12基、鍛冶遺構3基、ピット多数

出土遺物：土師器、須恵器

調査概要：

ア．遺跡の概要

熊野堂遺跡は、八戸市庁から北西へ約1.3km離れた地点に位置する。本遺跡の北方約200mには馬淵川が北東に流れている。本遺跡は河川により形成された沖積地から一段高い低位段丘上に立地し、標高は約16mである。周辺地域は区画整理により宅地化が進んでいる。

昭和62年(1987)に八戸市教育委員会による第1地点の発掘調査が行われ、8～10世紀に帰属する古代の竪穴建物跡80棟、土坑171基、溝跡10条などが検出された。また、平成26年(2014)には第2地点の発掘調査が行われ、竪穴建物跡87棟、土坑259基、溝跡11条、炉跡5基など、1地点と一連とみられる古代の集落跡がみつまっている。

イ．調査に至る経緯

本地点は遺跡の東端に位置する。個人住宅建築に伴い、平成28年7月1日付けで文化財保護法第93条第1項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。届出に基づき、平成28年7月8日に試掘調査を実施した。

調査の結果、竪穴建物跡などの遺構が検出されたため、工事に先立ち平成28年7月19日から8月12日に本発掘調査を実施した。

ウ．検出遺構

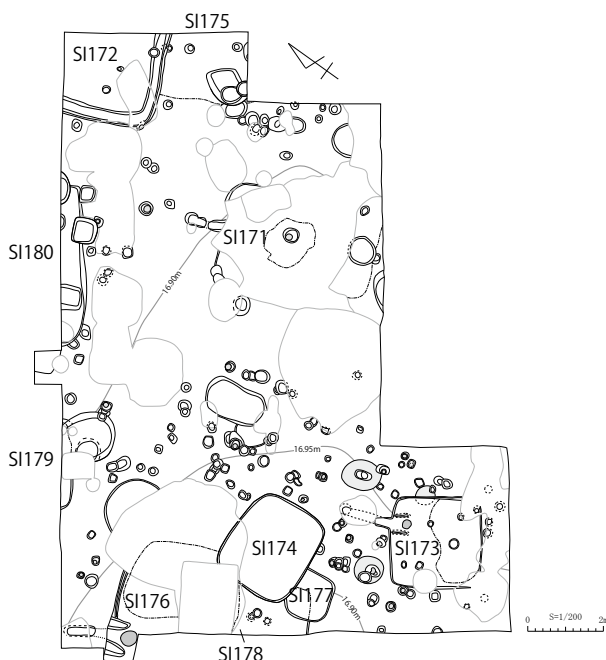
調査区全体に攪乱坑や削平があり、遺構の残りが悪く、出土遺物も非常に少なかった。その中でSI176竪穴建物跡は出土遺物から奈良時代、SI171竪穴建物跡は平安時代のもものとみられる。また、SI173はSI171とカマドの向きが同じ北向きであること、建物規模も近いと予想されることから、同じく平安時代のもものとみられる。

エ．出土遺物

土師器坏・甕、須恵器坏・甕の破片が出土した。土師器坏は内面に黒色処理後ミガキ調整が施されるもの、底面に回転糸切痕がみられるものがある。

オ．調査成果

本地点では、調査区南西側の竪穴建物跡が比較的切り合いが多いが、調査区中央から北側では遺構の切り合いが少なく、遺構密度も低い。1・2地点を熊野堂遺跡の集落の中心とすれば、3地点はその周辺部にあたるとみられる。しかし、集落の範囲はさらに南東へと広がっていることが予想される。



遺構配置図



調査区全景 (北東から)

⑤熊野堂遺跡第5地点 (p25-No.53)

調査地：八戸市長根二丁目12-2

担当職員：西村 広経

検出遺構：竪穴建物跡3棟、土坑4基、溝跡1条、溝状土坑1基、ピット

出土遺物：土師器、須恵器、鉄製品

調査概要：

ア．遺跡の概要

熊野堂遺跡第3地点に同じ。

イ．調査に至る経緯

本地点は遺跡の東端に位置し、地番は八戸市長根二丁目12-2で、現況は宅地である。個人住宅建築に伴い、平成28年10月6日付けで文化財保護法第93条第1項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。届出に基づき、平成28年10月21日に試掘調査を実施した。

調査の結果、竪穴建物跡などの遺構が検出されたため、工事に先立ち平成28年11月14日から12月7日に個人住宅建築範囲の本発掘調査を実施した。

ウ．検出遺構

調査区全体から竪穴建物跡、土坑、溝跡などが

重複して検出された。竪穴建物跡は出土遺物から平安時代のものとみられる。溝跡は、検出した範囲で全長6.5m、幅12～21cmを測り、北東から南西方向に走る。

エ．出土遺物

注目される遺物として、平安時代の竪穴建物跡の床面直上から、大型の刀子が1点出土した。柄部を欠損しているが、残存する刃部の長さ21.2cm以上、刃部幅3.2cmを測る。

オ．調査成果

本地点は第2地点の南に位置する。遺構の分布状況から、本地点の遺構は2地点と一連の集落とみられる。報告書は、平成29年度に刊行予定である。



調査区の全景写真(南東から)



竪穴建物跡完掘(南東から)



溝跡完掘(南西から)



竪穴建物跡から出土した刀子

⑥櫛引遺跡第5地点 (p25-No.26・58)

調査地：八戸市大字櫛引字櫛引 48、48・4-2

担当職員：村木 淳

検出遺構：掘立柱建物跡4棟、柵列・堀跡1条、竪穴建物跡3棟、井戸跡4基、
溝跡1条、土坑2基、切り土1条

出土遺物：縄文土器、土師器、須恵器、陶磁器、漆製品、石製品、鉄製品

調査概要：

ア．遺跡の概要

本遺跡は八戸市庁から南西約6kmに所在し、馬淵川右岸の標高20～110mの段丘上に立地する。これまで八戸市教育委員会や青森県埋蔵文化財調査センターによって発掘調査が行われている。

イ．調査に至る経緯

本地点は遺跡の北西端に位置し、常安寺の敷地内である。寺院建築に伴い、平成28年8月2日付けで文化財保護法第93条第1項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。届出に基づき、平成28年8月18・19日に試掘調査を実施したところ、竪穴建物跡などの遺構や縄文土器・土師器などの遺物が検出されたため、工事に先立ち平成28年11月2日から11月30日に本発掘調査を実施した。

ウ．検出遺構

縄文時代の遺構として、土坑を1基検出した。形態はいわゆるフラスコ状土坑で、出土遺物から後期前半に属すると考えられる。

古代の遺構として、竪穴建物跡2棟を検出した。このうち1棟の埋土から、竪穴建物が廃絶された直後に堆積したとみられる十和田a火山灰(To-a)を確認した。もう1棟の竪穴建物跡は切り合い関係から、前者のものより古いと考えられる。

2棟の竪穴建物跡を壊して、切り土をした痕跡が検出された。切り土の埋土には、白頭山-苦小牧火山灰(B-Tm)がレンズ状に堆積していた。このことから、切り土による造成は十和田a火山灰降下後まもなく行われ、白頭山-苦小牧火山灰が降下するまでの短期間だけ使用されたものとみられる。

近世の遺構として、掘立柱建物跡4棟、柵列・堀跡1条、竪穴建物跡を1棟、井戸跡4基を検出した。掘立柱建物跡は、さらに調査区外へ広がるものと予想される。竪穴建物跡は規模が小さいものの、柱の作り替えが何度も行われていることから、比較的長い間使用されたものとみられる。井戸跡は調査区南西側で検出され、そのうちの1基には作り替えがみられる。

エ．出土遺物

縄文土器は、後期前半・後期中葉・晩期のものが出土している。陶磁器は、17世紀後半から18世紀のものが主体を占める。

オ．調査成果

本地点の位置する遺跡北側は、これまで調査履歴が少なかった。今回の調査で、本遺跡北側にも古代と近世の集落が存在することが明らかとなった。



調査区の全景写真(上が東)



近世の竪穴建物跡(南から)

3. 発掘調査報告書

平成28年度に実施された発掘調査の成果を埋蔵文化財調査報告書として計4冊を刊行した。

	書名	シリーズ名	シリーズ番号	編著者	発行年月日
1	重地遺跡Ⅱ	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第155集	西村広経	平成29年(2017年) 3月24日
	所収遺跡名：重地遺跡第2地点				
2	八戸市内遺跡発掘調査報告書34	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第156集	村木淳・横山寛剛・ 苧坪祐樹・西村広経・ 小笠原善範	平成29年(2017年) 3月28日
	所収遺跡名：燕島遺跡第1地点・雷遺跡第3・4地点・舟渡ノ上遺跡第3地点・八戸城跡第35地点・石橋遺跡第8地点・櫛引遺跡第5地点・市子林遺跡第21地点・熊野堂遺跡第3・4地点・駒ヶ沢遺跡第3・4地点・重地遺跡第6地点・田面木遺跡第47地点				
3	一王寺(1)遺跡	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第157集	横山寛剛	平成29年(2017年) 3月30日
	所収遺跡名：一王寺(1)遺跡				
4	八幡遺跡Ⅵ	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第158集	横山寛剛	平成29年(2017年) 3月29日
	所収遺跡名：八幡遺跡第7地点				

平成28年度刊行埋蔵文化財調査報告書一覧

4. 情報公開

(1) 平成28年度遺跡調査報告会

平成28年度に実施した発掘調査の主な成果を報告した。1階体験交流室を報告会場、2階研修室を出土品展示会場とし、市内外から68名の参加があった。

開催日時：11月12日(土)13:00～16:00

報告内容：

【報告遺跡】14:00～16:00

- ・一王寺(1)遺跡(是川地区)縄文時代
- ・田面木遺跡(田面木地区)飛鳥～平安時代
- ・聖寿寺館跡(南部町)中世
- ・企画展「馬淵川流域の縄文時代」について

【主な展示】13:00～16:00

- ・一王寺(1)遺跡の骨角器、動物遺存体(シカ・イルカ、魚、貝)、植物遺存体(トチノキ・コナラ種実)等
- ・田面木遺跡の土師器、須恵器、鉄製品等
- ・聖寿寺館跡の陶磁器、青銅製装飾品等



遺跡調査報告会(出土品展示)



平成28年度遺跡調査報告会

(2) 発掘調査現地説明会・見学会

平成28年度に発掘調査を行った田面木遺跡、一王寺(1)遺跡で現地説明会を実施した。

○田面木遺跡現地説明会

開催日時：8月27日(土) 10:30～11:30

場所：八戸市大字田面木字山道下タ28-1の一部・28-2の一部

参加者数：41名

○一王寺(1)遺跡現地説明会

開催日時：10月22日(土) 10:00～11:00

場所：八戸市大字是川字中居28-2、一王寺2-3

参加者数：43名



田面木遺跡現地説明会状況



田面木跡現地説明会(遺物展示)

5. 史跡整備

(1) 一王寺(1)遺跡内容確認調査(p25-No.55)

調査地：八戸市大字是川字中居28-1・2、一王寺2-3

担当職員：横山 寛剛

検出遺構：竪穴建物跡4棟、土坑2基、
盛土遺構、貝塚

出土遺物：縄文土器・石器・土製品石製品・
骨角器・動物遺存体

調査概要：

①昭和32年史跡指定地における遺構分布と堆積状況を確認すること、②平成26年度に確認した旧調査坑(大山史前学研究所による調査トレンチ)を利用し、新規の掘削面積を必要最小限にしつつ、貝塚の形成状況を明らかにすることを目的として調査を行った。

①の調査では、昭和32年の史跡指定地に縄文時代中期後葉の榎林・最花式土器期の集落が広がることを初めて確認することができた。

②の調査では、縄文時代前期の貝塚と中期の盛土遺構の形成状況を確認するため、土壌の定量サンプルと分層サンプルの採取を行った。現在、採取した土壌サンプルの分析を進めている。



一王寺(1)遺跡現地説明会状況



一王寺(1)遺跡現地説明会状況



貝塚から出土したイノシシの骨



貝塚から出土したカツオの魚骨（左）と円筒土器（右）

(2) 史跡維持管理

史跡是川石器時代遺跡の環境保全・景観管理のため、館の繁忙期や行事による来館者の往来、草の繁茂状況を鑑みて4月から10月にかけて除草を実施した。

27年度より、除草範囲の一部について、ヤギによる除草を実施しており、対象範囲について、バッテリー式の電気柵と仮設小屋を設け、ロープでつないだヤギを期間中移動させながら除草を行った。生えてくる草はヤギのえさになるとともに、地面が踏まれ、糞尿によって草が生えにくい状況が続き、結果的に期間を通じて草がない状態が維持された。また、ヤギ除草をしている史跡として、好意的な意見も寄せられ、維持管理のほかに、イメージ向上に効果が得られた。



ヤギ除草

①ヤギ除草（堀田遺跡・中居遺跡地内）

面積	約 13,480㎡
期間	4月28日～10月31日
受託者	八戸市森林組合
事業費	1,054千円

②除草（分館敷地・是川遺跡記念碑・一王寺(1)遺跡・堀田遺跡地内）

面積	約 56,500㎡
期間	5月30日～9月30日
受託者	株式会社昴造園建設
事業費	3,780千円



草刈の状況（堀田遺跡）

6. 是川遺跡出土品保存修理事業

事業計画 平成24年～33年度まで出土品の保存修理及び保存台製作を実施する予定である。

期間 平成28年6月17日～平成29年2月24日

概要 平成23年に是川遺跡出土品330点が重要文化財に追加指定された。この指定品には多数の木製品や漆製品が含まれており、発掘調査後に保存処理を実施しているが、欠損部分や脆弱な部分が認められる。土器・石器等には石膏の充填、接合部の剥離などが認められる。資料の劣化を抑制するとともに、本来の状態を復元し広く公開活用に供するため、保存修理を実施する。また、万全の保管体制を確保するため、専用の保存台を製作する。

内容 壺形土器1点、弓3点、飾り太刀2点、掘り棒2点、ヤス軸柄2点、計10点の保存修理を実施した。うち、壺形土器を除く9点について保存台を製作した。

受託者 株式会社東都文化財保存研究所（埼玉県）

事業費 6,110千円（50%国庫補助）



修理前



樹脂を充填



修理後

是川遺跡出土品 保存修理状況
壺形土器

7. 埋蔵文化財活用活性化事業

事業計画 平成25年～30年度までの6ヶ年で平成24年度までの出土品の収蔵整理及びデータベース化を行う。

期間 平成28年4月1日～平成31年3月31日

概要 収蔵資料の体系化を目的とし、①収蔵品のデータベース化及び再整理・再収納と②写真原版の保存修理及び公開活動を実施している。

内容 ①収蔵品再整理

平成28年度は、人首沢遺跡66点、毛合清水遺跡84点、大仏遺跡586点、田向遺跡1,910点、大仏館遺跡362点、田向冷水遺跡1,667点、重地遺跡356点、市子林遺跡6点、冷水遺跡29点、計9遺跡5,066点の出土品のデータベース化を行った。

②写真原版の保存修理及び公開活動

泉山コレクションの一部である、大正末期から昭和初期の是川遺跡の発掘状況が撮影されたガラス乾板のうち、ガラスに割れや欠け等の劣化が認められるものは保存修理及び保護処置を行い、80枚のデジタル化を実施した。また、デジタル化したものはパネル展にて公開した。

(P9-III-2-(4)参照)

受託者 堀内カラー株式会社（東京都・写真原版保存修理）

事業費 5,224千円（補助対象額4,998千円の50%国庫補助）



収蔵品再整理状況

V 管理運営概要

1. 協議会等

(1) 平成 28 年度是川縄文館運営協議会

期日 【第1回】平成 28 年 6 月 23 日(木)14:00～

【第2回】平成 29 年 2 月 16 日(金)14:00～

会場 ①是川縄文館 1F 会議室

②是川縄文館 2F 研修室

委員 岡村 道雄(会長) 石川 宏之(副会長) 高田 和徳
福田 友之 木津 正博 山下 治子 吉田 晃

概要 是川縄文館の運営や事業について、文化財・教育普及・広報活動等の専門的見地から評価・助言を得るための協議会。各回とも岡村会長による議事進行で協議が行われた。第1回では、平成 27 年度事業報告と平成 28 年度事業計画の説明の後、バックヤードの視察が行われ、広報・情報発信の取組みに関する質疑や意見があった。第2回では、平成 28 年度事業の進捗状況及び平成 29 年度事業計画の説明をもとに質疑が行われたほか、他施設との連携の提案や、小中学校の利用促進について意見があった。



第1回運営協議会（バックヤード視察）

(2) 史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会

期日 【第1回】平成 28 年 10 月 7 日(金)14:00～

【第2回】平成 29 年 2 月 15 日(水)14:00～

会場 ①是川縄文館 1F 会議室

②是川縄文館 2F 研修室

委員 岡村 道雄(会長) 高田 和徳(副会長) 辻 誠一郎
馬場 光久 野沢 秀明 泉山 重寿 古戸 良一

概要 史跡是川石器時代遺跡の整備基本計画策定を目的とし、有識者及び地権者・住民代表による検討を行う委員会。平成 28 年度は、史跡の現地視察、事務局による整備基本計画案の説明のもと、記載内容の審議を行った。委員会での指摘事項にもとづいて計画案の改訂作業を進め、平成 29 年度の整備基本計画策定を目指す。



第1回整備検討委員会（現地視察）

(3) 平成 28 年度是川縄文館懇談会

期日 平成 29 年 3 月 14 日(火)13:30～

会場 是川縄文館 2F 研修室

出席者 中居町内会 八戸縄文保存協会 是川文化財愛護会
縄文是川ボランティア 是川縄文隊 是川縄文館職員

概要 是川縄文館の近隣町内組織及び支援団体から館の運営について助言・連携等を得るための会合。平成 28 年度の事業報告、平成 29 年度事業計画等の説明をもとに連携の進め方について協議した。出席者からは、分館の植物栽培計画や整備についての地域の意見が出された。



是川縄文館懇談会

2. 日記抄

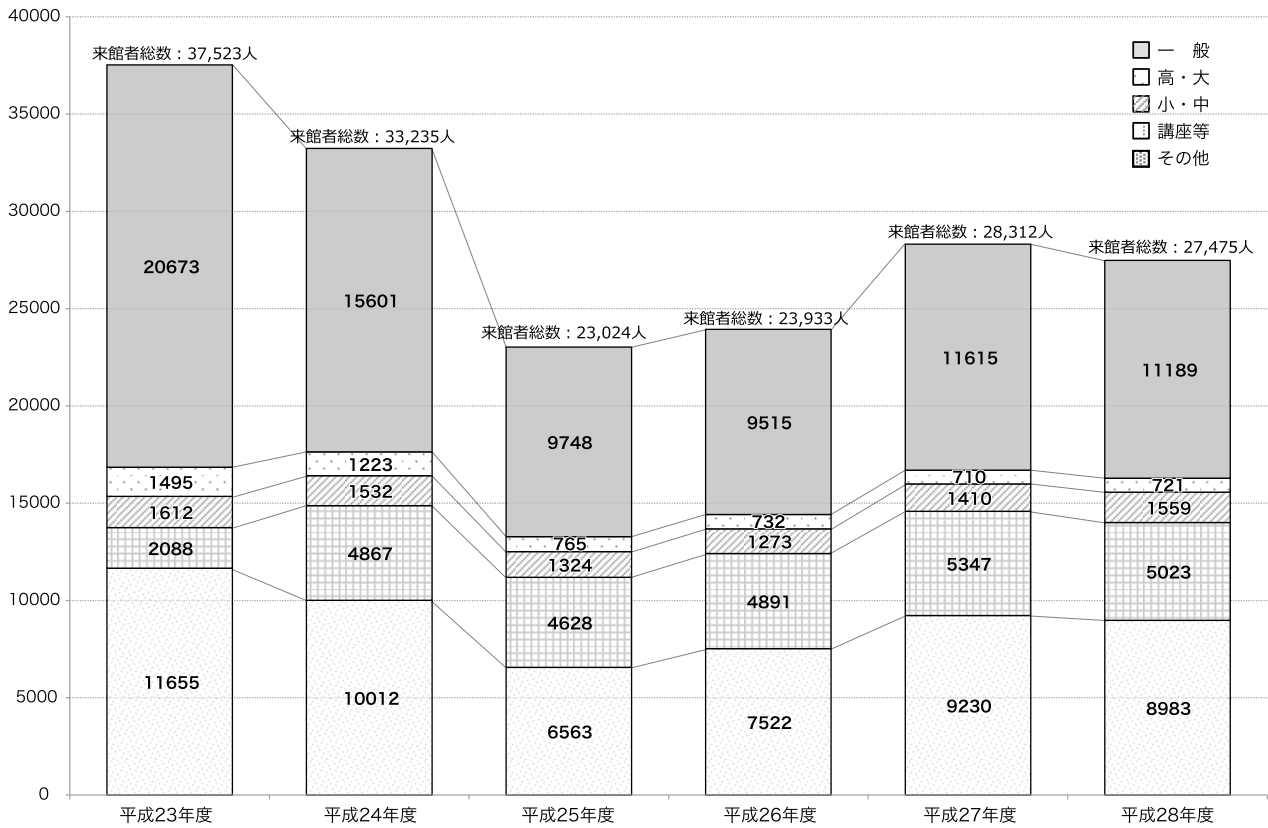
月/日	事項		
平成28年(2016)			
4.2	見学：岩松測量設計株式会社(11人)	6.7	縄文土器作り・見学：南部町立杉沢小学校5・6年(10人) 見学：デイサービスセンターみやぎ(12人)
4.3	視察：和歌山大学観光学部(1人)	6.8	合掌土偶作り：鷗盟大学(11人) 見学：デイサービスセンターみやぎ(8人)/是川地区振興会(1人)
4.7	見学：社会医療法人松平病院(15人)	6.9	縄文土器作り・見学：青森県立八戸第一養護学校中学部(10人) 見学：八戸学院大学(5人)
4.9	火起こし・見学：さくよし学童保育(21人)		
4.15	電気自動車貸与式(20人) 視察：ポトランド日本庭園(2人) /公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター(4人) 取材：デーリー東北新聞社(1人)/東奥日報社(1人)	6.10	講話：柏崎小学校3年(99人)講師：館長(於柏崎小学校) 滑石の勾玉作り・見学：おいらせ町立百石小学校6年(65人) 見学：東北メディカル学院(3人)/是川保育園(21人)
4.16	縄文の布を編む教室(12人)	6.11	縄文土器作り教室(14人) ボランティア養成講座⑥(9人)講師：当館学芸員 ボランティア養成講座⑦(9人)講師：当館学芸員
4.19	見学：行田さくらローラークラブ(27人) ボランティア激励セレモニー(13人) 取材：デーリー東北新聞社(1人)/東奥日報社(1人) /RAB青森放送(2人)	6.12	見学：株式会社シーピーツアーズ(8人)/是川地区振興会(2人)
4.20	滑石の勾玉作り・見学：南部町立南部小学校6年(16人) 取材：あおもり県民カレッジ事務局(3人)	6.14	縄文土器作り・見学：南部町立杉沢中学校1～3年(35人)
4.22	土製ペンダント作り・見学：第二しのめ幼稚園(18人)	6.15	土製ペンダント作り・見学：田面木小学校6年(35人) 見学：高洲いきいきサロン(25人)
4.23	特別展展示協力説明会(21人) 見学：地域活動支援センターのぞみ(29人)	6.16	土製耳飾り作り・見学：八戸学院短期大学(91人)
4.24	見学：明土納税組合(35人)	6.17	見学：十和田史談会(22人) 取材：八戸学院大学・八戸学院短期大学(2人)
4.27	滑石の勾玉作り・見学：白銀小学校6年(36人) 見学：サポートセンター虹(17人)	6.18	考古学講座②(60人)講師：佐野隆氏 見学：北杜市埋蔵文化財センター(3人) 取材：和を織る michi するべ(2人)
4.28	企画展「掘り day はちのへ」内覧会：報道関係・ボランティア(20人) 滑石の勾玉作り・見学：白銀南小学校6年(94人) 下見：十和田史談会(3人)	6.19	取材：八戸商業高等学校3年(6人)
4.29	企画展「掘り day はちのへ」開催(～6/26)	6.21	見学：一戸町町民文化センター(22人)/白樺会(9人) /東奥日報旅行センター(39人)
4.30	縄文土器野焼き(20人)於分館 見学：宗前タクシー(1人)	6.22	合掌土偶作り・見学：中居林小学校6年(47人) 見学：小中野小学校6年(29人)
5.2	入館者15万人記念セレモニー 縄文土器作り・見学：白山台小学校6年(165人) 取材：八戸テレビ放送(2人)/デーリー東北新聞社(1人) /東奥日報社(1人)	6.23	第一回は川縄文館運営協議会 縄文土器作り・見学：青森県立八戸第二養護学校6年(11人) 取材：株式会社ティーズ(3人)
5.5	是川時空探検祭！(80人)於分館	6.24	ボランティア養成講座⑧(21人)講師：当館学芸員 見学：認定こども園マリアンハウス幼稚園(46人)
5.7	シカの角でペンダント作り教室(15人) 企画展ギャラリートーク(24人) 取材：東奥日報社(1人)	6.25	見学・交流会：三沢航空科学館ボランティア(11人) 見学：放課後等デイサービスあーるすりー(11人) /三八五交通株式会社(2人) 第三回平成28年度八戸市史講座(20人) 講師：館長(於八戸市立図書館)
5.8	見学・会議：名農高同窓会八戸支部(13人)	6.26	見学：青森県母親大会(30人)
5.10	縄文土器作り・見学：旭ヶ丘小学校6年(69人) 取材：八戸テレビ放送(2人)	6.28	縄文土器作り・見学：吹上小学校6年(101人)
5.11	取材：八戸テレビ放送(2人)/NHK青森放送局八戸支局(1人) /東奥日報社八戸支社(1人)/青森朝日放送(1人)	6.29	ボランティア養成講座⑨(15人)講師：当館学芸員(於分館) 見学：是川地区振興会(1人)/株式会社マゼラン旅行倶楽部(5人) 見学：株式会社チットラベルセンター(21人)/八戸タクシー(1人)
5.12	特別展市民スタッフ説明会(12人)	6.30	合掌土偶作り・講話・見学：平成28年度初任者研修(50人) 講師：当館学芸員
5.13	見学：是川保育園(14人)	7.1	見学：外ヶ浜町議会(1人)
5.14	考古学講座①(58人)講師：水沢教子氏 見学：長野県埋蔵文化財センター(1人) /株式会社シーピーツアーズ(33人)	7.2	縄文土器作り教室(17人) ボランティア養成講座⑩(9人)講師：当館学芸員
5.17	視察：総合地球環境学研究所(4人) グッジョブウイーク：長者中学校2年(2人) 取材：長者中学校(1人)/ビデオアートボックス(1人)	7.3	見学：国際連合協会青森市支部(14人) /東武トップツアーズ株式会社(15人)
5.18	グッジョブウイーク：長者中学校2年(2人) 見学：ポストタクシー(1人) 取材：デーリー東北新聞社(1人)	7.5	見学：放送大学茨城同窓会(17名)
5.19	グッジョブウイーク：長者中学校2年(2人) 縄文土器作り・見学：白鷗小学校6年(54人)	7.6	グッジョブウイーク：大館中学校2年(2人)
5.20	グッジョブウイーク：長者中学校2年(2人)	7.7	グッジョブウイーク：大館中学校2年(2人) 見学：八戸学院大学1学年(33人)
5.21	ボランティア養成講座①(13人)講師：当館学芸員 見学：マルイタクシー(1人) 取材：株式会社八重洲出版(5人)	7.8	縄文土偶作り・見学：鷗盟大学31期生(18人) 見学：書店東北ブロック大会(25人)
5.24	縄文土器野焼き(16人)於分館 見学：KGISA44年会(16人)	7.9	是川縄文館開館5周年記念イベント： 学芸員とめぐる是川遺跡ツアー(17人) /是川縄文館バックヤードツアー(24人) 見学：是川縄文保存協会(2人) 取材：NHK八戸支社(3人)/デーリー東北新聞社(1人)
5.25	講話・見学：鷗盟大学自主研(14人)講師：館長 打合せ：遠野市教育委員会(4人) 下見：青森県立八戸第二養護学校6年(3人)	7.10	是川縄文館開館5周年記念イベント： 学芸員とめぐる是川遺跡ツアー(23人) /是川縄文館バックヤードツアー(25人) 見学：ザ・ワープ東北言霊ツアー(87人) 取材：東奥日報社(1人)
5.26	滑石の勾玉作り・見学：南部町立福地小学校6年(20人)	7.12	見学：江陽小学校6年(39人)
5.27	ボランティア養成講座②(17人)講師：当館学芸員 ボランティア養成講座③(17人)講師：当館学芸員	7.13	板状土偶作り・見学：南部町立名川南小学校5・6年(14人)
5.29	視察：東京大学空間情報科学研究センター(8人)	7.14	見学：青森県立八戸第二養護学校PTA研修委員会(15人) /三八五交通(2人) 視察：文教公安委員会(12人)/十日町市議会(7人)
5.31	合掌土偶作り・見学：南部町立剣吉小学校6年(24人)	7.15	滑石の勾玉作り・見学：田子町立田子小学校6年(30人) 見学：岩手県職員退職者会二戸支部(11人) /三菱マテリアル不動産株式会社(3人)
6.2	見学：是川地区振興会(6人) 取材：東奥日報社(1人)/デーリー東北新聞社(1人)	7.16	考古学講座③(63人)講師：会田進氏 視察：千葉大学(1人)/三沢市教育委員会(2人)
6.3	見学：十和田市老人クラブ連合会(81人)/根城中学校2年(11人)	7.17	見学：八戸縄文保存協会(1人)/鮫バプテスト教会(14人) 視察：青森放送(1人)
6.4	ボランティア養成講座④(17人)講師：当館学芸員 ボランティア養成講座⑤(15人)講師：当館学芸員 企画展ギャラリートーク(14人) 見学：株式会社和光ハイヤー(1人) 取材：東奥日報社(1人)		
6.6	滑石の勾玉作り・見学：新郷村立戸来小学校6年(18人) 見学：デイサービスセンターみやぎ(10人)		

月/日	事項		
7.20	見学：城下小学校6年(49人)	9.6	縄文土器作り・見学：是川小学校5年(37人)
7.21	視察：東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター(2人)		見学：八戸縄文保存協会(2人)
7.22	縄文土器作り・見学：八戸市中学校社会科教育研究会(20人)	9.7	合掌土偶作り・見学：是川小学校6年(33人)
	見学：毛馬内あけぼの学園(58人)	9.8	板状土偶作り・見学：是川小学校2年(33人)
7.23	特別展ギャラリートーク(12人)		見学：野田村教育委員会(12人)
	見学：並木西旭クラブ(30人)	9.10	縄文土器作り：南部町立福田小学校3年親子レク(43人)
	取材：NHK八戸支局(1人)		見学：八戸縄文保存協会(2人)
7.24	見学：八戸縄文保存教会(2人)	9.11	見学：尾上総合高校PTA(7人)
	縄文土器野焼き(16人)於分館	9.14	土製ペンダント作り・見学：是川小学校1年(24人)
	見学：ポストタクシー(2人)		見学：八戸学院光星高等学校(2人)/クラブツーリズム(18人)
	視察：八戸市小学校理科研究会(2人)	9.15	滑石の勾玉作り・見学：三条小学校6年(52人)
7.27	滑石の勾玉作り取材： 青森県企画政策部世界文化遺産登録推進室(2人) 土製耳飾り作り・取材：青森放送(5人) 取材：青森朝日放送(3人)	9.16	見学：源タクシー(1人) 講話・見学：鷗盟大学1年(55人)講師：館長 講話：東公民館歴史教室(37人)講師：当館長(於東公民館) 講話：八戸地区保護司会(50人)講師；当館長(於グランドホテル)
7.28	見学：八戸縄文保存教会(3人)		見学：こだまの園(12人)/新井田小学校6年(111人)
7.29	見学：J建築工房(1人)		/久慈市立久喜小学校5年(18人)/株式会社朝日旅行(14人)
7.30	特別展ギャラリートーク(12人)	9.17	シカの角で釣針作り教室(5人)
7.31	見学：八戸縄文保存教会(2人)/桐蔭学園(1人)		見学：クラブツーリズム(24人)
8.2	講話：下長公民館講座(13人)講師：当館学芸員 於下長公民館 見学：いいともツアー(36人)	9.18	取材：千葉学園高等学校(1人)/NILSON(1人)
	視察：渡民小学校(1人)	9.19	見学：M・T・C21(14人)/八戸縄文保存協会(1人)
8.3	見学：小中野中学校2年(15人)/三八五交通(8人) /八戸縄文保存協会(1人)/八戸大使(16人)	9.20	取材：土偶の日運営委員会(1人)
8.4	滑石の勾玉作り・見学：個人体験学習(16人) 縄文土器作り：個人体験学習(2人) 見学：南部藩ゆかりの都市との交流事業(34人)/TMC(9人) /郵船クルーズ株式会社(61人)	9.21	講話：八戸ポータルミュージアム(78人)
8.5	見学：八戸縄文保存教会(1人)/樹の音(8人) /株式会社JTB国内旅行企画(22人)/十和田観光株式会社(23人)	9.22	講師：当館長(八戸ポータルミュージアムはっち)
8.6	特別展ギャラリートーク(19人)	9.24	取材：青森朝日放送(1人)
	見学：八戸縄文保存教会(1人)	9.25	見学：アオモリスタディ(17人)
8.7	取材：青森県立八戸商業高等学校3年(3人)	9.27	第1回は川縄文の里俳句大会表彰式 見学：さくら会(13人)
8.9	縄文土器作り：下長公民館講座(17人)於下長公民館 縄文土器作り・見学：個人体験学習(3人) 取材：株式会社ビーエフエム(1人)	9.28	見学：青森県文化財保護協会(54人)
8.10	見学：椛山女学園中学校・高等学校(6人) 視察：一般財団法人道南歴史文化振興財団(1人)	9.29	縄文土器野焼き(15人)於分館
8.11	縄文土器作り・見学：島守小学校PTA(21人)	9.30	見学：北海道・東北ブロック交流集会(96人) /桔梗野小学校6年(48人)
8.13	特別展ギャラリートーク(13人)	10.1	見学：八戸縄文保存協会(2人)
	見学：八戸縄文保存教会(5人)	10.2	/株式会社シン技術コンサルタント(3人)/県南タクシー(人)
8.15	見学：八戸縄文保存教会(3人)	9.29	見学：東北町栄町婦人会(9人)
8.16	見学：東北学院大学考古学ゼミナール(4人)/八戸縄文保存教会(5人)	9.30	縄文の布を編む：個人体験学習(1人)
8.18	縄文土器作り・見学：久喜小学校6年(13人) 縄文土器作り・見学：個人体験学習(2人) 視察：北海道札幌市議会議(12人)	10.1	見学：筑波大学(20人)
8.19	講話・見学：八戸学院大学ビジネス学部(9人)講師：当館長 見学：高教研水産部会(29人)	10.1	見学：八戸南ロータリークラブ(17人)/株式会社朝日旅行(16人)
8.20	縄文土器作り等・見学： 八戸市博物館(9人)博物館実習に係る見学実習 特別展ギャラリートーク(10人)	10.2	見学：永利0929(30人)
	見学：八戸縄文保存教会(1人)/三八五交通(5人)	10.3	見学：大館公民館(9人)/八戸学院短期大学附属幼稚園(58人)
8.21	第21回は川縄文まつり：於分館 取材：読売新聞八戸支局(1人)/デーリー東北新聞社(1人)	10.4	見学：草の会(9人)
8.23	講話：小中野小学校6年修学旅行事前学習会(72人) 講師：当館長(於小中野小学校) 見学：水稲生産組織連絡協議会(15人)/八戸縄文保存協会(4人) 視察：世界文化遺産登録推進室(5人) 取材：東奥日報社(1人)	10.5	取材：デーリー東北新聞社(3人)/青森朝日放送株式会社(7人)
8.24	滑石の勾玉作り・見学：東糠塚百働会(29人) 取材：北海道新聞社(5人)	10.5	見学：南浜中学校全学年(62人)/佐久市議会経済建設委員会(10人) /株式会社ミドルウッド(1人)
8.25	縄文土器野焼き(14人)於分館 取材：東奥日報社(1人)	10.6	縄文土器作り・見学：階上町立道仏小学校6年(20人)
8.26	見学：つがる水稲部会川除支部(10人)/三井金属鉱業株式会社(6人) /さくら病院(15人)	10.6	火起こし・見学：青森県立八戸第二義護学校中等部2年(18人)
8.27	特別展考古学講座(87人)講師：小野正文氏 特別展ギャラリートーク(47人) 田面木遺跡現地説明会(41人)於田面木遺跡	10.6	見学：株式会社吉田産業(11人)/根城中学校1年(22人)
8.30	見学：八戸縄文保存協会(5人) /名川ドライブフラワーセンターメイプル(14人)	10.7	/株式会社朝日旅行(15人)/アスバムしんこう会(19人)
9.1	縄文土器作り・見学：是川小学校3年(37人) 見学：青森県たばこ耕作組合(8人)/吹上公民館(23人)	10.7	第1回は川石器時代遺跡整備検討委員会 見学：下長中学校1年(11人)/八戸縄文保存協会(1人)
9.2	縄文土器作り・見学：是川小学校4年(49人) 見学：八戸縄文保存協会(1人) /八戸学院短期大学池田ゼミナール(7人)	10.7	/青森県立三本木高校附属中学校1年(84人) /アスバムしんこう会(12人)
9.3	縄文の布を編む講座(12人) 特別展ギャラリートーク(12人)	10.8	縄文土器作り講座①(14人)講師：当館学芸員 企画展ギャラリートーク(12人)
9.5	縄文土器作り・見学：三戸町立斗川小学校4～6年(28人) 見学：十日町市商工会議所(3人)/三八五観光(2人) 視察：岩手県議会(2人)	10.8	取材：株式会社ビーエフエム(1人)
		10.9	滑石の勾玉作り・縄文の布を編む：わくわくフェスタ2016(135人) 於八食センター 見学：八戸縄文保存協会(2人)/レインボー青森(49人) /ケアステーション浄信館(38人)
		10.10	取材：NHK八戸支局(1人)
		10.10	滑石の勾玉作り・縄文の布を編む：わくわくフェスタ2016(126人) 於八食センター 見学：洋光台女性部(20人)
		10.12	見学：ポストタクシー(3人)
		10.13	見学：八戸北高等学校1年(235人)
		10.14	/株式会社JTBコーポレートセールス(34人)
		10.15	縄文土器作り・見学：おいらせ町立下田小学校5年(36人)
		10.16	企画展ギャラリートーク(25人)
		10.16	滑石の勾玉作り・見学：花向町子ども会(14人)
		10.18	見学：八戸縄文保存協会(2人)
		10.18	縄文土器作り・見学：七戸町立天間東小学校全学年(76人)
		10.20	見学：上屋敷町内会おらほの寺子屋(11人)/いしこいな心交会(22人)
		10.20	見学：久慈市立中央公民館(28人)
		10.21	滑石の勾玉作り・見学：青森県立三沢高等学校定時制全学年(59人)
		10.21	見学：八戸縄文保存協会(1人)
		10.22	縄文土器作り講座②(13人)講師：当館学芸員 見学：三八五交通(5人)
		10.22	一王寺(1)遺跡現地説明会(43人)於一王寺(1)遺跡 企画展ギャラリートーク(10人)
		10.23	講話：みんなで考える！南郷のまちづくりワーキング会議(18人) 講師：当館長(於南郷地区)

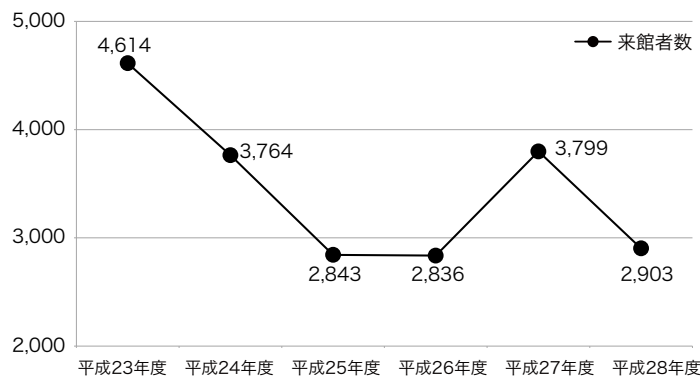
月/日	事項		
10.25	縄文土器野焼き(17人) 見学:階上町立大蛇小学校6年(17人)	1.24	滑石の勾玉作り・見学:きくよし学童保育(16人) 見学:株式会社イニシオ(1人)
10.26	見学:ニッ森老人クラブ(30人)/岩手県高教研地歴公民部会(30人) 縄文土器作り・見学:南郷小学校6年(33人) 見学:東町民児協(9人)	1.28	ボランティア養成講座②(12人) 講師:当館学芸員・縄文は川ボランティア 見学:田村企画(7人)/八戸だし style(9人)
10.28	是川中学校テラコッタ野焼き(228人)於是川中学校 取材:株式会社リクルートライフスタイル(3人)	1.31	滑石の勾玉作り・見学:階上町立石鉢小学校6年(45人) 見学:貝守分館(19人)
10.29	トチの実を食べる教室(11人)於分館 企画展ギャラリートーク(13人) 見学:柿の木苑(18人)/株式会社アイズ(41人) /八戸縄文保存協会(1人)/東北ろうあ者大会(10人)	2.2	板状土偶作り・見学:五戸町立五戸小学校5年(75人) 撮影:三八五HD(3人)
10.30	見学:八戸縄文保存協会(1人)/中山間赤部集落(20人)	2.3	見学:株式会社ニチイ学館 COCO 塾八戸校(3人)
11.1	縄文土器作り・見学:根城小学校6年(91人) 見学:八戸市社会福祉協議会(11人) 取材:株式会社八戸テレビ放送(2人)	2.4	考古学講座⑥(68人)講師:関根達人氏 見学:株式会社アボテック(4人)
11.2	見学:デリーー東北新聞社(15人)/森ノ上老人クラブ(20人) /十和田市立切田中学校1・3年(45人)/名鉄観光サービス(20人) /株式会社梓設計(3人) 視察:放送大学(3人)	2.6	滑石の勾玉作り・見学:多賀台小学校6年(35人)
11.5	企画展考古学講座(65人)講師:高田和徳氏 企画展ギャラリートーク(13人)	2.8	見学:盛岡大学(21人)
11.6	見学:青森県立美術館サポートシップ倶楽部(21人)	2.11	ボランティア養成講座③(13人)講師:栗村知弘氏 滑石の勾玉作り・見学:株式会社ニチイ学館(10人)
11.7	滑石の勾玉作り・見学:長者小学校6年(54人)	2.15	第2回は川石器時代遺跡整備検討委員会
11.8	見学:大杉平老人クラブ(20人)	2.16	第2回は川縄文館運営協議会
11.9	滑石の勾玉作り・見学:三沢市立第一中学校1年(115人) 見学:三菱製紙株式会社(2人)	2.17	火起こし:かがり火えんぶり(3人)於市庁前広場
11.10	見学:栄町実業クラブ(15人) 取材:川口印刷工業株式会社(1人)	2.18	縄文土器作り教室(17人)講師:当館学芸員・縄文は川ボランティア ボランティア養成講座④(15人)講師:当館学芸員 見学:東奥日報旅行センター(30人)/JX エネルギー株式会社(6人) /三八五交通株式会社(1人)/ワールド航空サービス(19人)
11.12	平成28年度遺跡調査報告会(68人) 企画展ギャラリートーク(2人) 見学:下長公民館(44人) 視察:南部町教育委員会社会教育課史跡対策室(1人)	2.19	見学:八戸東京事務所(8人)
11.15	滑石の勾玉作り・見学:柏崎小学校6年(106人) 見学:八戸縄文保存協会(2人)	2.21	見学:埼玉大学(1人)
11.16	見学:八戸縄文保存協会(2人) 視察:北海道開発局室蘭開発建設部地域振興対策室(10人)	2.22	八戸学院大学ラグビー関係者写真寄贈(2人) 取材:NHK 八戸支局(2人)/デリーー東北新聞社(1人)
11.17	板状土偶作り・見学:是川小学校2年(8人)於是川小学校 見学:町畑小学校5年(6人)	2.23	見学:三八五交通株式会社(24人)/JX エネルギー株式会社(6人)
11.18	見学:JR北海道函館資材協力会(21人)/八戸縄文保存協会(4人)	2.25	ボランティア養成講座⑤(7人)講師:八戸消防署 取材:デリーー東北新聞社(1人)
11.19	縄文土器作り講座③(21人)於分館 企画展ギャラリートーク(6人) 見学:八戸縄文保存協会(1人)	2.26	えんぶり鑑賞会(350人) 見学:八戸縄文保存協会(7人)
11.20	講話:はっち市2016「ちっちゃな街のまなび舎」(40人) 講師:当館学芸員(於八戸ポータルミュージアム)	2.28	滑石の勾玉作り:個人体験学習(7人)
11.22	講話:是川地区振興会(35人)於是川地区 見学:吹上小学校5年(26人)/有限会社イニシオ(1人) 見学:山脈(10人)	3.2	資料調査:舟形町教育委員会(1人)
11.25	見学:山脈(10人)	3.4	ボランティア養成講座⑥(10人)
11.26	ドングリを食べる教室(14人)於分館	3.7	琥珀・滑石の勾玉作り:八戸観光コンベンション協会(4人) 視察:沖縄県北谷町教育委員会(5人)
11.29	見学:神奈川県立歴史博物館(14人)	3.10	見学:JR東日本(14人)
11.30	講話:柏崎小学校(99人)講師:当館長(於柏崎小学校)	3.11	縄文土偶作り教室(15人)講師:当館学芸員・縄文は川ボランティア ボランティア養成講座⑦(13人) 講師:当館学芸員・縄文は川ボランティア 見学:アセンドハウス(15人) 取材:株式会社シンプルウェイ(4人)
12.1	講話:八戸市倫理法人会(33人)講師:当館長(於八戸プラザホテル)	3.12	見学:通目木第一納税組合(12人)/八戸縄文保存協会(2人) /手をつなぐ親の会(10人) 視察:縄文遺跡群議員連盟(13人) 取材:東奥日報社(1人)
12.2	見学:田面木地区社会福祉協議会(56人)/桔梗野小学校5年(12人)	3.14	是川縄文館懇談会(12人) 土製ペンダント作り・見学: 米軍三沢基地内ソラーズ小学校1年(61人) 見学:サンシャイン(16人)/株式会社八戸テレビ放送(2人)
12.3	見学:総合リハビリ美保野病院(3人)/八戸山友会(9人) 見学:二戸市教育委員会(41人)/盛岡ミライフ(11人) /八戸縄文保存協会(4人)	3.15	見学:サンシャイン(15人)
12.4	滑石の勾玉作り・取材:株式会社デルタエージェンシー(7人)	3.16	土製ペンダント作り・見学: 米軍三沢基地内ソラーズ小学校1年(46人) 見学:長生園(14人)/サンシャイン(16人)
12.6	講話:根城小学校(340人)講師:当館長(於根城小学校) 見学:東京製鋼株式会社(4人) 取材:めんこいエンタープライズ(2人)	3.17	視察:福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館(2人) 見学:サンシャイン(14人)
12.8	火起こし・見学:美保野小学校5・6年(5人)	3.18	ボランティア養成講座⑧(17人)講師:当館学芸員 見学:サンシャイン(15人)
12.10	考古学講座④(67人)講師:藤沢敦氏	3.19	見学:八戸縄文保存協会(1人)
12.11	見学:有限会社イニシオ(2人)	3.20	見学:八戸縄文保存協会(6人)
12.13	取材:めんこいエンタープライズ(5人)	3.22	見学:有限会社イニシオ(1人)
12.15	見学:株式会社キャデック(1人)	3.23	土製ペンダント作り・見学: 米軍三沢基地内ソラーズ小学校1年(39人) 講話:平成28年度縄文語り部勉強会&交流会(28人) 講師:当館長(於はちのへくりニック街かどミュージアム)
12.17	縄文土器の拓本教室(5人) 見学:株式会社上戸工業(63人) 取材:株式会社ビーエフエム(1人)	3.24	ボランティア養成講座⑨(18人)
12.22	消防訓練	3.25	視察:東北歴史博物館(2人)/文化庁文化財部記念物課(1人) ボランティア養成講座⑩(21人) 見学:三八五交通株式会社(4人)
12.24	見学:八戸縄文保存協会(1人)	3.26	見学:株式会社読売旅行(85人)
平成29年(2017)		3.28	縄文土器野焼き(16人) 視察:青森県教育委員会文化財保護課(2人)
1.6	取材:株式会社八戸テレビ放送(2人)	3.29	見学:八戸縄文保存協会(2人)/是川保育園(6人)
1.7	滑石でペンダント作り教室(8人)	3.30	縄文土器作り・取材:青森テレビ(7人)
1.8	見学:アトリエハル(2人)	3.31	滑石の勾玉作り・見学:ソニールファームエッグス(5人)
1.9	見学:ひろば町内会(14人)		
1.14	考古学講座⑤(53人)講師:高瀬克範氏		
1.18	講話:八戸地区自家用電気協議会(38人) 講師:当館長(於グランドホテル)		
1.20	見学:三八五流通株式会社(4人)		
1.21	ボランティア養成講座⑪(18人)講師:当館学芸員		

3. 来館者利用状況

月	個人				団体				減免入館者					有料観覧者	全額免除観覧者	講座等入館者	本館総入館者	開館日数	平均入館者数	分館入館者総計	総計
	一般	大・高	小・中	計	一般	大・高	小・中	計	障がい	介護	高齢	優待	計								
4月	735	12	89	836	89	0	0	89	37	21	91	9	158	1,083	443	337	1,863	27	69	134	1,997
5月	1,359	28	124	1,511	22	0	22	44	40	27	205	25	297	1,852	635	469	2,956	26	114	287	3,243
6月	825	23	51	899	257	88	91	436	36	13	76	21	146	1,481	499	390	2,370	27	88	225	2,595
7月	1,062	33	71	1,166	166	28	28	222	22	23	135	22	202	1,590	1,084	485	3,159	28	113	286	3,445
8月	1,691	92	260	2,043	109	0	0	109	48	27	207	24	306	2,458	1,575	508	4,541	27	168	966	5,507
9月	874	27	45	946	173	19	24	216	10	7	94	13	124	1,286	862	413	2,561	26	99	380	2,941
10月	1,000	9	68	1,077	264	269	162	695	89	52	161	38	340	2,112	444	383	2,939	27	109	226	3,165
11月	631	6	32	669	61	0	145	206	5	3	154	23	185	1,060	703	474	2,237	25	89	127	2,364
12月	286	20	7	313	64	0	26	90	4	3	98	9	114	517	89	259	865	23	38	43	908
1月	340	7	22	369	0	0	41	41	7	5	19	18	49	459	83	287	829	23	36	25	854
2月	412	27	15	454	70	0	71	141	4	2	34	18	58	653	116	694	1,463	25	59	25	1,488
3月	588	33	55	676	111	0	110	221	27	13	116	34	190	1,087	281	324	1,692	28	60	179	1,871
計	9,803	317	839	10,959	1,386	404	720	2,510	329	196	1,390	254	2,169	15,638	6,814	5,023	27,475	312	88	2,903	30,378



本館における過去6年間の来館者数の推移



分館における過去6年間の来館者数の推移

管理・広報課

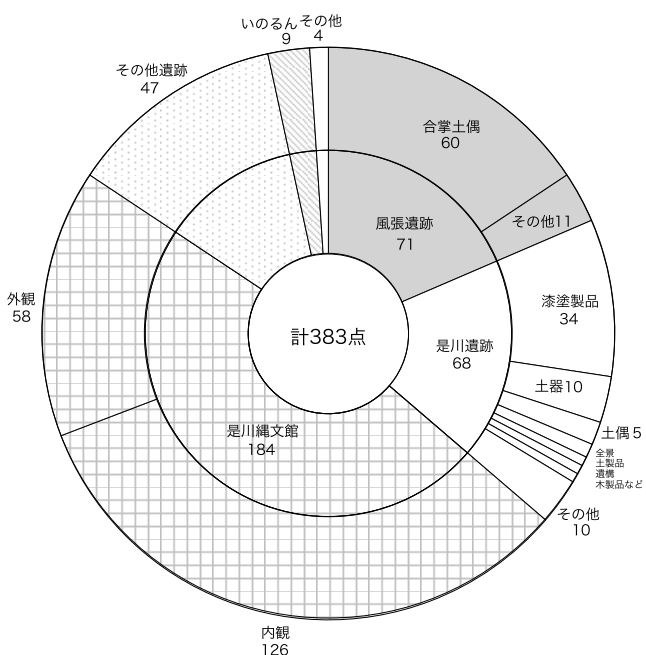
4. 市内小中学校利用状況

入館日	学校名	内容	人数	入館日	学校名	内容	人数	入館日	学校名	内容	人数
4/27	白銀小学校6年	見学・体験	34	8/3	小中野中学校2年	見学	14	10/6	八戸第二養護学校 中等部2年	見学・体験	11
4/28	白銀南小学校6年	見学・体験	88	8/18	大久喜小学校6年	見学・体験	10	10/6	根城中学校1年	見学	21
5/2	白山台小学校6年	見学・体験	159	9/1	是川小学校3年	見学・体験	35	10/7	下長中学校1年	見学	10
5/10	旭ヶ丘小学校6年	見学・体験	66	9/2	是川小学校4年	見学・体験	46	10/27	南郷小学校6年	見学・体験	31
5/19	白鷗小学校6年	見学・体験	52	9/6	是川小学校5年	体験	34	11/1	根城小学校6年	見学・体験	86
6/9	八戸第一養護学校 中等部1～3年	見学・体験	5	9/7	是川小学校6年	見学・体験	31	11/7	長者小学校6年	見学・体験	50
6/15	田面木小学校6年	見学・体験	32	9/8	是川小学校2年	体験	31	11/15	柏崎小学校6年	見学・体験	99
6/22	中居林小学校6年	見学・体験	45	9/14	是川小学校1年	見学・体験	22	11/17	町畑小学校5年	見学	5
6/23	八戸第二養護学校 小学部6年	見学・体験	8	9/15	三条小学校6年	見学・体験	49	11/22	吹上小学校5年	見学	24
6/28	吹上小学校6年	見学・体験	96	9/16	新井田小学校6年	見学	107	12/1	桔梗野小学校5年	見学	10
7/12	江陽小学校6年	見学	36	9/27	桔梗野小学校6年	見学	45	12/8	美保野小学校5～6年	見学・体験	3
7/20	城下小学校6年	見学	46	10/5	南浜中学校1～3年	見学	53	2/6	多賀台小学校6年	見学・体験	33
計 30校 1,527人 (見学 371人 体験 65人 見学・体験 1,091人)											

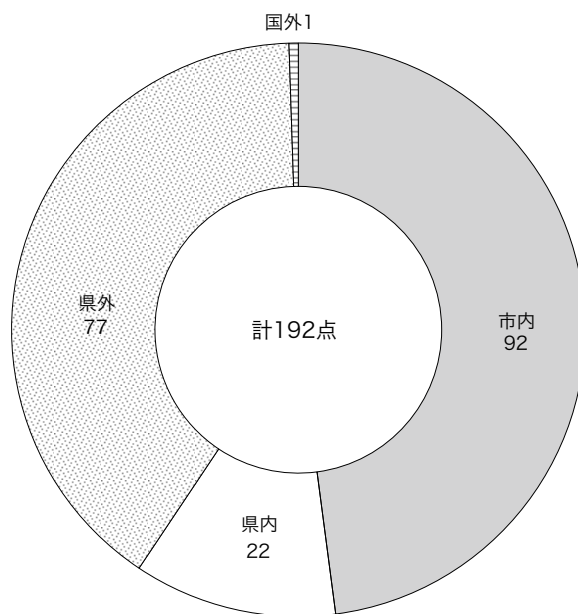
5. 資料利用状況

(1) 映像資料

平成28年度は、申請数192件、合計344点の利用申請があった。前年と比べ点数は減少したが、件数は増加した。今年度の申請者は、県内が半数以上を占めた。利用目的では、書籍等への掲載のほか、テレビ利用などがある。



映像資料利用種別内訳



映像資料利用依頼先内訳

番号	申請者	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
1	一般社団法人北海道開発技術センター	是川縄文館外観写真ほか	7	写真貸与・掲載	4/1	バスバック
2	合資会社泰斗舎	国宝展示室ほか	3	撮影	4/9	ガイドブック『青森見つけ隊が行く!!』
3	株式会社はる制作室	風張1 遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	4/13	平成版おとなの歴史『謎多き古代史をめぐる』
4	はちのへ観光ネットワーク	是川縄文館外観写真ほか	3	写真貸与・掲載	4/14	『はちのへ観光ネットワーク構築事業』チラシ
5	株式会社デーリー東北新聞社	是川縄文館外観	1	撮影	4/15	日刊紙
6	株式会社東奥日報社 八戸支社	是川縄文館外観	1	撮影	4/15	日刊紙
7	株式会社東奥日報社 八戸支社	1階アトリウム	1	撮影	4/19	日刊紙
8	株式会社デーリー東北新聞社	1階アトリウム	1	撮影	4/19	日刊紙
9	日本放送協会 八戸支局	1階アトリウム	1	撮影	4/19	ニュース番組
10	青森放送株式会社 八戸支社	1階アトリウム	1	撮影	4/19	ニュース番組
11	あおり県民カレッジ事務局	常設展示室ほか	2	撮影	4/20	生涯学習情報誌『てのひら』
12	株式会社交通新聞社	復元竪穴式住居写真	1	写真貸与・掲載	4/22	パンフレット
13	株式会社アド・グリーン	是川中居遺跡出土 漆塗り土器群ほか	3	写真貸与・掲載	4/22	『別冊旅の手帖 青森・函館』
14	有限会社カメラの和弘	体験交流室	1	撮影	4/22	第二ののめ幼稚園卒園アルバム
15	株式会社シーピーツアーズ	風張1 遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	4/26	ツアーパンフレット
16	合資会社泰斗舎	是川中居遺跡出土 赤色漆塗り土器	1	撮影	4/26	ガイドブック『青森見つけ隊が行く!!』
17	株式会社Z会	是川中居遺跡出土 壺形土器ほか	2	写真貸与・掲載	4/28	中学受験用通信教育用教材
18	株式会社グランフォート	常設展示室ほか	2	撮影	4/28	白銀南小学校卒業アルバム
19	株式会社八戸テレビ放送	常設展示室ほか	2	撮影	5/2	ニュース番組
20	有限会社スタジオ大島	常設展示室ほか	2	撮影	5/2	白山小学校卒業アルバム
21	白山台小学校	常設展示室ほか	2	撮影	5/2	ブログ
22	株式会社東奥日報社 八戸支社	2階展示ホワイエ	1	撮影	5/2	日刊紙
23	株式会社デーリー東北新聞社	2階展示ホワイエ	1	撮影	5/2	日刊紙
24	株式会社東奥日報社 八戸支社	企画展示室	1	撮影	5/7	日刊紙
25	一般財団法人国づくり人づくり財団	風張1 遺跡出土 合掌土偶ほか	3	写真貸与・掲載	5/10	書籍『和の文明の源郷 縄文』
26	株式会社八戸テレビ放送	企画展示室	1	撮影	5/10	ニュース番組
27	旭ヶ丘小学校	常設展示室ほか	2	撮影	5/10	学校通信
28	株式会社 JAF Mate 社	風張1 遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/11	月刊誌『JAF Mate』
29	有限会社コーベット・フォトエージェンシー	風張1 遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/11	高校歴史資料集『日本のライブラリー』
30	有限会社スタジオ・ページワン	風張1 遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/11	『ジバング倶楽部7月号』
31	株式会社東奥日報社 八戸支社	常設展示室	1	撮影	5/11	ニュース番組
32	株式会社八戸テレビ放送	常設展示室	1	撮影	5/11	ニュース番組
33	まちづくり文化スポーツ観光部観光課	常設展示室	1	撮影	5/11	FaceBook 掲載
34	青森朝日放送株式会社 八戸支社	常設展示室	1	撮影	5/11	ニュース番組
35	日本放送協会 八戸支局	常設展示室ほか	1	撮影	5/11	ニュース番組
36	長者中学校	是川縄文館外観ほか	1	撮影	5/17	グッジョブウィーク
37	ビデオアートボックス	是川縄文館外観ほか	1	撮影	5/17	グッジョブウィーク
38	株式会社デーリー東北新聞社	常設展示室	1	撮影	5/19	日刊紙『密着ルポ』
39	株式会社グレイ	是川中居遺跡出土 赤染人骨	1	写真貸与・掲載	5/19	別冊『宝島』
40	花澤 由記子	マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与・掲載	5/19	劇団のイベント用着ぐるみ作成
41	株式会社デーリー東北新聞社	体験交流室	1	撮影	5/21	日刊紙『密着ルポ』
42	リレー・フォー・ライフジャパン八戸実行委員会	風張1 遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/24	横断幕
43	株式会社八重洲出版	常設展示室ほか	2	撮影	5/21	自転車雑誌『サイクルスポーツ』
44	株式会社ジェイアール東日本企画 青森営業所	風張1 遺跡出土 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	5/27	ガイドブック『県南・下北エリア』
45	南部町立福地小学校	常設展示室	1	撮影	5/27	卒業アルバム、学校通信
46	ライド株式会社	風張1 遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/31	番組『中川翔子のマニア★まにある』
47	株式会社ビーエフエム	常設展示室	1	撮影	5/31	八戸経済新聞日刊紙
48	株式会社デーリー東北新聞社	企画展示室ほか	2	撮影	6/2	日刊紙
49	株式会社東奥日報社 八戸支社	常設展示室	1	撮影	6/4	日刊紙
50	青森県立八戸第一養護学校	常設展示室	1	撮影	6/9	学級通信
51	仙台市富沢遺跡保存館	遺跡背景ほか	4	写真貸与・掲載	6/7	特別企画展『いにしへの石の道具-ココロころころ』
52	花澤 由記子	マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与・掲載	6/9	『パルンアートと絵本の読み聞かせミュージカルシアター』
53	株式会社レマン	風張1 遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	6/10	新幹線車内誌『トランヴェール』
54	宮古市教育委員会	一王寺(1)遺跡 遠景写真ほか	4	写真貸与・掲載	6/14	特別展『騎山貝塚〜みやこの海と森の原点を探る〜』
55	株式会社学研プラス	マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与・掲載	6/14	月刊誌『GeteNavi』
56	株式会社ワタナベプロダクツ	風張1 遺跡出土 合掌土偶ほか	1	写真貸与・掲載	6/15	『青森県の縄文遺跡群を世界遺産に』広告物
57	北海道・東北の縄文遺跡群の世界遺産をめざす道民会議 多田みのり	風張1 遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	6/18	縄文夏まつり展示でのパンフレット等掲載
58		常設展示室ほか	2	撮影	6/18	WEB サイト取材
59	株式会社ティーズ	常設展示室	1	撮影	6/23	テレビ番組『俺の旅番組』
60	八戸縄文保存協会	風張1 遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	6/25	会員証
61	三陸ジオパーク推進協議会	是川縄文館外観ほか	3	写真貸与・掲載	6/25	ガイドマニュアル『三陸ジオパーク認定ガイド』
62	山本利夫	常設展示室	1	撮影	6/26	青森県母親大会撮影
63	株式会社てむじん	是川遺跡出土遮光器土偶グループショット	1	映像 (NHK 撮影)	6/28	『世界遺産登録運動推進プロモーション映像』
64	丹藤 淳	マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与・掲載	6/28	案内ちらし及びポスター等
65	株式会社新泉社	是川中居遺跡出土 土器集合写真	1	写真貸与・掲載	6/28	書籍『縄文時代史』
66	有限会社スタジオ大島	常設展示室ほか	1	撮影	6/28	吹上小学校卒業アルバム
67	有限会社オフィス・イディオム	風張1 遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/1	書籍『ヒストリカ』
68	西出 穂子	是川中居遺跡出土 櫛(6点)ほか	6	写真貸与・掲載	7/5	書籍『MARIKO NISHIDE - TRUE URUSHI WORK』
69	大館中学校	常設展示室	1	撮影	7/5	グッジョブウィーク
70	株式会社誠文堂新光社	風張1 遺跡出土 合掌土偶(正面)ほか	3	写真貸与・掲載	7/4	書籍『現代人のための縄文入門-身近な疑問で読み解く縄文の衣・食・住-(仮題)』
71	株式会社デーリー東北新聞社	1階アトリウム	1	撮影	7/9	日刊紙
72	日本放送協会 八戸支局	是川縄文館外観	1	撮影	7/9	ニュース番組
73	株式会社東奥日報社 八戸支社	常設展示室	1	撮影	7/10	日刊紙
74	江陽小学校	常設展示室ほか	2	撮影	7/12	学校ブログ
75	八戸市立是川中学校	マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与・掲載	7/20	グッジョブ・ウィーク生徒用名札
76	株式会社デーリー東北新聞社	風張1 遺跡出土 合掌土偶ほか	1	写真貸与・掲載	7/22	日刊紙
77	日本放送協会 八戸支局	企画展示室ほか	2	撮影	7/23	ニュース番組
78	青森放送株式会社	企画展示室ほか	3	撮影	7/27	ニュース番組
79	青森朝日放送株式会社 八戸支社	企画展示室	1	撮影	7/27	ニュース番組
80	青森県立八戸商業高等学校	マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与・掲載	8/1	課題研究『八戸PR』内「土偶マップ」

平成 28 年度映像資料利用依頼一覧(1)

V 管理運用情報センター

番号	申請者	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
81	盛岡市立浜民小学校	常設展示室	1	撮影	8/2	授業用スライド映像
82	八戸商業高等学校	常設展示室	1	撮影	8/7	課題研究
83	株式会社ビーエフエム	企画展示室ほか	2	撮影	8/9	八戸経済新聞日刊紙
84	株式会社山と溪谷社	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	1	写真貸与・掲載	8/10	書籍『ときめく縄文図鑑』及び電子版
85	株式会社アム・プロモーション	是川中居遺跡出土 篋形木製品	4	写真貸与・掲載	8/10	『縄文カレンダー 2017』
86	大久喜小学校	常設展示室ほか	1	撮影	8/18	卒業アルバム
87	是川浄信館	是川縄文館外観ほか	2	撮影	8/21	冊子掲載
88	株式会社読売新聞 八戸支局	1階アトリウム	1	撮影	8/21	日刊紙
89	株式会社デーリー東北新聞社	1階アトリウム	1	撮影	8/21	日刊紙
90	株式会社東奥日報社 八戸支社	是川遺跡内	1	撮影	8/23	日刊紙
91	株式会社北海道新聞社	常設展示室ほか	1	撮影	8/24	日刊紙
92	株式会社東奥日報社 八戸支社	企画展示室	2	撮影	8/25	日刊紙
93	三井金属鉱業株式会社	体験交流室ほか	1	撮影	8/26	三井金属グループ報
94	オフィスワイズメイツ合同会社	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	9/2	中学生向け学習教材『歴史の資料』
95	八戸学院大学・八戸学院短期大学	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	4	写真貸与・掲載	9/2	パネル展
96	学校法人桐蔭学園文化センター	風張1遺跡出土 合掌土偶	3	写真貸与・掲載	9/1	展覧会企画『縄文展』
97	土偶の日運営委員会	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	9/7	『JOMON 美土偶グランプリ』
98	株式会社平凡社地図出版	是川中居遺跡全景写真	1	写真貸与・掲載	9/7	書籍『日本歴史大地図』
99	株式会社エスアンド	是川中居遺跡出土 イモガイ状土製品	1	写真貸与・掲載	9/14	書籍『ニセモノ図鑑-贋作と模倣からみた日本の文化史-』
100	株式会社ワールド航空サービス	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	9/14	国内旅行パンフレット『日本旅百景』
101	エムズクリエイト	是川縄文館内	1	撮影	9/16	新井田小学校卒業アルバム
102	千葉学園高等学校	常設展示室ほか	2	撮影	9/17	文書デザインコンテスト出品作品
103	土偶の日運営委員会	常設展示室ほか	2	撮影	9/19	ブログ
104	観光課	常設展示室ほか	2	撮影	9/21	webメディア『TANS』
105	北海道新聞函館支社	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	9/24	北海道新聞朝刊、デーリー東北新聞朝刊
106	青森商工会議所	是川中居遺跡出土 木胎漆器出土状況ほか	3	写真貸与・掲載	9/24	会報『かけはし』
107	桔梗野小学校	常設展示室ほか	2	撮影	9/27	総合学習事後指導
108	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所	是川遺跡出土 赤漆塗り土器集合写真ほか	5	写真貸与・掲載	9/29	『An Illustrated Companion to Japanese Archaeology』
109	青森朝日放送株式会社	常設展示室ほか	3	撮影	10/4	ニュース番組
110	株式会社デーリー東北新聞社	常設展示室	1	撮影	10/4	グッジョブ
111	南浜小学校	常設展示室	1	撮影	10/5	学級新聞
112	株式会社青森テレビ	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	4	写真貸与・掲載	10/6	プロモーションビデオ
113	国立科学博物館	田向冷水遺跡出土 ナイフ形石器	3	写真貸与・掲載	10/6	特別展『世界遺産 ラスコ展』
114	階上町立道仏小学校	常設展示室ほか	3	撮影	10/6	学級便り
115	下長中学校	常設展示室ほか	1	撮影	10/7	文化祭パンフレット
116	株式会社東奥日報社 八戸支社	企画展示室	1	撮影	10/7	日刊紙
117	株式会社デーリー東北新聞社	企画展示室	1	撮影	10/7	日刊紙
118	株式会社ビーエフエム	企画展示室	1	撮影	10/8	八戸経済新聞日刊紙
119	日本放送協会 八戸支局	企画展示室	1	撮影	10/9	ニュース番組
120	吉野裕子	常設展示室ほか	3	撮影	10/10	『図書館を使った調べる学習コンクール』応募
121	株式会社テレビ信州	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/12	テレビ番組『ゆうがた Get!』
122	七戸町立天間東小学校	常設展示室ほか	2	撮影	10/18	学校便り等
123	八戸観光創造委員会	是川縄文館外観	1	写真貸与・掲載	10/19	『鯖コンボ』パンフレット
124	八戸市ろうあ協会	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/19	東北ろうあ大会プログラム誌
125	三沢高等学校定時制	体験交流室ほか	4	撮影	10/21	卒業アルバム等
126	ARTORO	常設展示室ほか	2	撮影	10/21	活動報告展示会
127	株式会社リクルートライフスタイル	常設展示室ほか	2	撮影	10/28	八戸市パンフレット
128	有限会社スタジオ大島	常設展示室	1	撮影	11/1	根城小学校卒業アルバム
129	株式会社八戸テレビ放送	企画展示室	1	撮影	11/1	ニュース番組
130	八戸建設業協会	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	11/1	年賀状
131	株式会社グランフォート	常設展示室ほか	2	撮影	11/7	長者小学校卒業アルバム
132	青森県立八戸商業高等学校	マスコットキャラクター「いのるん」	1	写真貸与・掲載	11/10	課題研究カメラアプリ
133	川口印刷工業株式会社	常設展示室ほか	2	撮影	11/10	八戸市観光ホームページ
134	株式会社山川出版社	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	11/15	書籍『土偶のリアル』
135	イワダテフォトスタジオ	体験交流室ほか	3	撮影	11/15	柏崎小学校卒業アルバム
136	吹上小学校	常設展示室ほか	2	撮影	11/22	自主学習まとめ
137	株式会社山川出版社	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	11/25	書籍『土偶界へようこそ』
138	株式会社アドプリンター	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	11/25	年賀状
139	二戸市教育委員会	常設展示室『イマージョンシアター』ほか	4	写真貸与・掲載	12/3	楓陰さきぼう塾配布用しおり
140	二戸市教育委員会	常設展示室ほか	2	撮影	12/3	市広報
141	株式会社デルタエージェンシー	常設展示室ほか	2	撮影	12/4	青い森鉄道フリーツアープック
142	青森県企画政策部	風張1遺跡出土 類杖土偶	1	写真貸与・掲載	12/6	『縄文土偶図鑑』
143	めんこいエンタープライズ	常設展示室	1	撮影	12/13	テレビ番組『Road to higher next』
144	茅野市教育委員会	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/13	新成人向けパンフレット
145	山形県教育庁総務課	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/13	副読本『Yamagata - 語って創るやまがたの未来-』
146	三八地方森林組合	常設展示室	1	撮影	12/15	田子町森林資源活用検討会資料
147	株式会社上戸工業	常設展示室ほか	2	撮影	12/17	縄文ツアー『石の上戸屋』
148	北海道・東北の縄文遺跡群の世界遺産登録をめざす道民会議	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/24	縄文雪まつりパンフレット
149	株式会社新泉社	是川中居遺跡出土 藍胎漆器ほか	4	写真貸与・掲載	12/24	書籍『さらにわかった! 縄文人の植物利用』
150	クラブツーリズム株式会社カルチャー旅行センター	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真掲載	1/5	パンフレット『歴史への旅 1月10日発行』
151	株式会社八戸テレビ放送	企画展示室	1	撮影	1/6	ニュース番組
152	広報統計課	是川縄文館外観ほか	2	撮影	1/6	『広報はちのへ3月号』
153	株式会社A A Cネットワーク	常設展示室『縄文の美』	1	写真貸与・掲載	1/12	観光イベント情報誌『レッツあおもり 2017』
154	有限会社マゼンタ	是川縄文館常設展示室『縄文の美』ほか	2	写真貸与・掲載	1/20	青森県イベント展示パネル
155	三八五流通株式会社	常設展示室	1	撮影	1/20	写真集
156	株式会社メディアシティ	是川縄文館外観ほか	4	写真掲載	1/31	書籍『バスさんぽ』
157	株式会社グレイ	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/1	書籍『地形と海路から解き明かす! あなたの知らない古代史』
158	株式会社山川出版社	風張1遺跡出土 深鉢形土器ほか	4	写真貸与・掲載	2/1	書籍『土偶のリアル』
159	株式会社誠文堂新光社	是川中居遺跡出土 皿形土器(裏面)ほか	2	写真貸与・掲載	2/1	書籍『知られざる縄文ライフ』

平成 28 年度映像資料利用依頼一覧 (2)

番号	申請者	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
160	三八五物流株式会社	常設展示室	1	撮影	2/2	写真集
161	株式会社便利堂	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/8	書籍『国宝事典 第四版』
162	磯村 亨	是川中居遺跡出土 漆塗り弓	1	写真貸与・掲載	2/9	機関誌『出羽路』
163	株式会社インビテーションジャパン	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	3	写真貸与・掲載	2/9	NIPPON 体験メディア『あいたび』
164	株式会社ニナイ学館 COCO 塾八戸校	常設展示室ほか	2	撮影	2/11	スクール内ジュニアイベント
165	茅野市尖石縄文考古館	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/14	『茅野市縄文ガイドブック』
166	観光課	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/16	旅行雑誌『じゃらん東北』
167	三八五物流株式会社	常設展示室	1	撮影	2/21	写真集
168	株式会社カビケーラ	是川縄文館外観ほか	4	写真貸与・掲載	2/22	ドライブ周遊観光促進事業『東北、車旅。』
169	株式会社デーリー東北新聞社	ミュージアムショップ『これカフェ』	1	撮影	2/22	日刊紙
170	NHK 八戸支局	ミュージアムショップ『これカフェ』ほか	3	撮影	2/22	ニュース番組
171	株式会社ハースト婦人画報社	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/25	婦人画報4月号『アート特集』
172	株式会社山川出版社	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/25	書籍『土偶のリアル』パネル展
173	青い森信用金庫	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/25	情報誌『とれんど情報2月号』
174	観光課	是川中居遺跡出土 木胎漆器ほか	3	写真貸与・掲載	2/25	ジオパーク解説パネル
175	株式会社デーリー東北新聞社	ミュージアムショップ『これカフェ』	1	撮影	2/25	妙丹柿取材
176	NPO 法人三内丸山縄文発信の会	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/7	チラシ
177	公益財団法人堺都市政策研究所	是川中居遺跡出土 藍胎漆器	1	写真貸与・掲載	3/11	書籍『フォーラム堺学第23集』
178	青森県総合社会教育センター指定管理者 日本人財産・ビルネットグループ	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	4	写真貸与・掲載	3/11	冊子『どこいく?ここく!』
179	株式会社デュナミス	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/11	チラシ
180	川口印刷工業株式会社	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/11	ガイドマップ『ポケットマップ2017』
181	株式会社シンプルウェイ	常設展示室ほか	2	撮影	3/11	函館市公式観光サイト
182	東奥日報社八戸支社	常設展示室	1	撮影	3/12	取材
183	株式会社毎日放送	かんじき	1	写真貸与・掲載	3/14	番組『ちんぷいぷい』
184	株式会社八戸テレビ放送	国宝展示室	1	撮影	3/14	番組「けーぶるにつぼん祭 JAPAN『えんぶり』」
185	株式会社リクラブ	常設展示室『縄文の美』ほか	4	写真貸与・掲載	3/16	福利厚生倶楽部会員専用ウェブページ
186	青森県教育委員会	田向冷水遺跡Ⅳ第129集 調査区遠景(南西から)ほか	17	掲載	3/18	パネル展示
187	川口印刷工業株式会社	風張1遺跡出土 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	3/18	観光ガイドマップ『八戸満喫旅(仮)』
188	本橋 康治	風張1遺跡出土 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/24	JR 東日本パンフレット『深遊探訪』
189	川口印刷工業株式会社	是川中居遺跡出土 木胎漆器深鉢ほか	2	写真貸与・掲載	3/24	『情報誌漆・浄法寺塗ポータルサイト』
190	株式会社青森テレビ	常設展示室ほか	3	撮影	3/30	テレビ番組
191	有限会社真陽社	是川中居遺跡出土 香炉形土器	1	写真貸与・掲載	3/31	書籍『小林行雄考古学選集』
192	青森県環境生活部県民生活文化課	田向冷水遺跡出土品ほか	38	写真貸与・掲載	3/31	『青森県史資料編 考古1』

平成 28 年度映像資料利用依頼一覧 (3)

(2) 実物資料

平成 28 年度は申請件数 3 件、合計 37 点の貸出を許可した。依頼が 2 件あった田向冷水遺跡のナイフ形石器は、頁岩製のやり先と考えられる資料である。薄く縦長に作り出した石片の下側縁に刃つぶし加工が施される定型的な石器であり、出土した地層と総合して約 2 万年前のものと考えられるものである。出展先の世界遺産ラスコー展では、国内の比較資料として一角を飾った。

No.	申請者名	資料名	貸出期間	利用先
1	八戸市博物館	中居遺跡出土 甕形土器・管玉、是川遺跡出土 骨角器、八戸城跡出土 土偶様壺形土器 計 35 点	H28.4.1 ~ H29.3.31	常設展示
2	国立科学博物館	田向冷水遺跡出土 ナイフ形石器 2 点	H28.10.24 ~ H29.2.24	世界遺産ラスコー展
3	東北歴史博物館	田向冷水遺跡出土 ナイフ形石器 2 点	H29.2.25 ~ H29.6.23	世界遺産ラスコー展

平成 28 年度実物資料貸出一覧

6. 資料収蔵

(1) 収蔵対象

是川縄文館では、八戸市内の遺跡から発掘調査等によって出土した遺物や、写真・図面等の調査記録、関連図書の収集・収蔵・保管を実施している。また、是川縄文の里整備事業において活用するため、漆器生産等に関連する民族・民俗資料も収蔵対象としている。

(2) 出土遺物等

出土遺物等については、平成元年度以降に八戸市教育委員会が実施した発掘調査によって出土した資料のほか、寄贈品等を収蔵している。収蔵施設には特別収蔵庫および一般収蔵庫がある。特別収蔵庫には国指定重要文化財、保存処理が完了した木製品・金属製品等の約700点を収蔵している。一般収蔵庫にはその他の土器、石器、土製品、石製品等が約2,500箱収蔵されている。収蔵庫内は資料を適切な状態で保管するため、常時温湿度管理を行っており、消火設備を備えている。資料は掲載されている調査報告書の図版ごとに平箱に収納している。

平成28年度は発掘調査で出土した遺物のうち、整理作業が終了した854点、34箱を新たに収蔵した。また、寄贈された土器・石器等11箱を収蔵した。

(3) 写真・図面等

写真・図面等の調査現場における記録のほか、整理作業の過程で作成された遺物実測図等は調査記録保管室で収蔵保管している。八戸市教育委員

会の発掘調査では、35mmフィルムカメラとデジタルカメラを併用して記録写真を撮影している。発掘調査の記録には恒久的な保管が求められるが、デジタルデータの長期的な保管方法については課題とされてきた。記録媒体として光ディスクを用いる場合、初期の書き込み品質の確保と、定期的な品質検査による媒体移行が必要となる。そこで平成27年度からは、デジタルデータの長期保存運用方法の規格であるJIS Z6017に準拠したアーカイブBDドライブ（パイオニア製 BDR-PRIMC-U-AL）およびブルーレイディスクを導入することとした。現在、蓄積されてきたデジタルデータを媒体に移行する作業を順次進めており、今後定期的な品質検査・媒体移行を実施していく予定である。

(4) 図書

図書については、49,572冊を所蔵している。各地の地方自治体等が刊行している発掘調査報告書等の考古学・歴史学に関連する図書が大半を占める。蔵書のうち24,243冊は故・江坂輝彌氏による寄贈図書（江坂図書）である。江坂図書は学史上重要な文献から外国語文献に至るまで多岐にわたる資料を含んでおり、調査・研究に活用されている。図書は書庫・研究室に収蔵されているほか、一部は閲覧コーナーにおいて一般開放している。

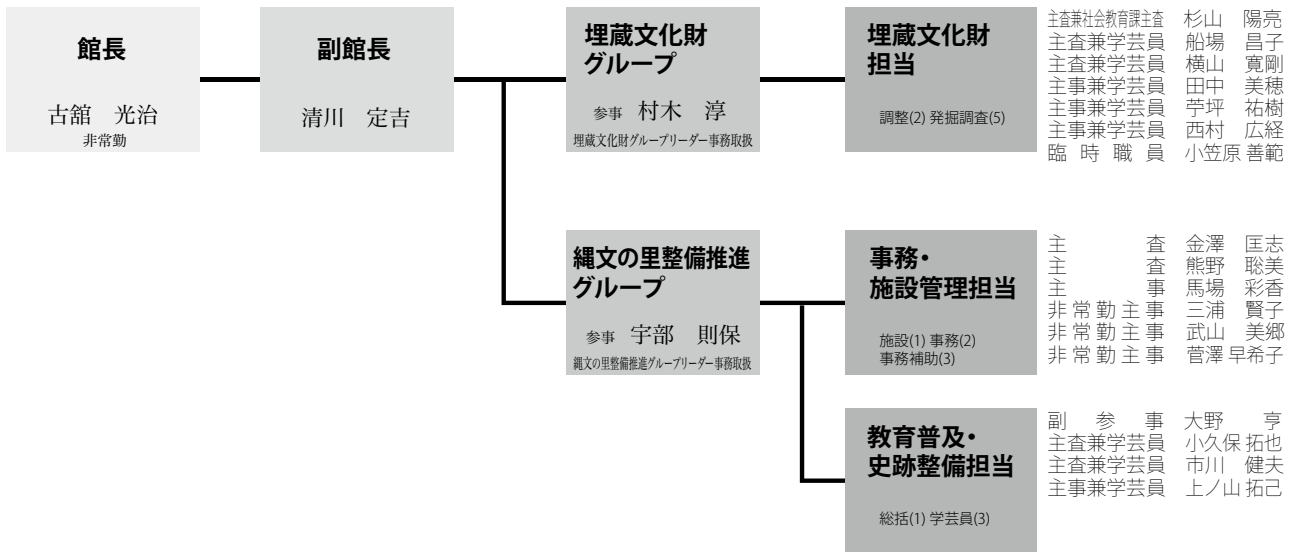
平成28年度は768冊（うち寄贈694冊、購入74冊）を新たに追加した。

予算概要 ※補正予算の記載がない額は当初予算額を示す。職員人件費は含まない。

予算内容		予算額（円）	備考
運営経費		100,036,000	
《内訳》	施設維持管理	78,651,000	
	一般管理事務経費	21,385,000	
特別展・体験事業等開催事業費		29,840,000	
《内訳》	特別展経費	12,204,000	
	企画展経費	10,209,000	
	共同研究経費	727,000	
	教育普及経費	6,700,000	
是川縄文の里整備事業費		43,827,000	
発掘調査事業費		58,419,000	
《内訳》	八戸市内遺跡発掘調査事業費	36,666,000	
	八戸城跡発掘調査事業費	14,577,000	
	櫛引遺跡発掘調査事業費	970,000	補正予算
	重地遺跡発掘調査事業費	3,002,000	補正予算
	文化財調査管理事務経費	3,204,000	
埋蔵文化財保存活用費		11,719,000	
《内訳》	埋蔵文化財活用活性化事業費	5,234,000	
	是川遺跡出土品保存修理事業費	6,485,000	
合 計		243,841,000	

VI 組織・関係団体

1. 組織及び職員構成



2. 八戸縄文保存協会

【設立年】平成7年 【会員数】154名(法人会員含む)

【目的・活動】

縄文文化の重要性を認識し、縄文遺跡及びその出土品の保存に協力するとともに、その活用を図り、もって地域文化・経済の振興に寄与することを目的に発足。当協会では、目的を達成するために次の事業を行う。

- ①縄文文化についての研修
- ②是川縄文館に関連する事業への協力
- ③縄文是川ボランティアへの支援
- ④縄文遺跡及びその出土品等の宣伝紹介
- ⑤文化財保護思想の啓蒙など

さらに、是川縄文館内でミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」を運営し、来館者の利便性向上を図っている。

このほか、毎年8月には「これかわ縄文まつり」を催し、弓矢体験や縄文土器・土偶作り、火起こし等の縄文体験、スタンプラリーといったイベントと各種ステージの企画・実施を通じ、縄文遺跡の魅力について広く普及啓発を図っているほか、地域の活性化に寄与している。平成28年度は、8月21日(日)に21回目となる「これかわ縄文まつり」を開催した。あいにくの雨に見舞われ、中

止した野外イベントがあったが、縄文体験コーナーや縄文鍋・トチもちのふるまいなどの各種イベントは好評で、平成28年度は約690人の来場者があった。

また、当協会は、「青森県の縄文遺跡群 世界遺産をめざす会」や「北の縄文文化回廊づくり推進協議会」に加盟し、縄文遺跡群の世界文化遺産登録推進に係る普及啓発を行っている。

平成28年10月30日(日)には、縄文遺跡群『世界遺産候補地探訪』を開催した。世界文化遺産登録を目指す小牧野遺跡、御所野遺跡を見学し、参加者から好評を得た。



これかわ縄文まつりの様子

2. 是川文化財愛護会

【設立年】昭和49年 【会員数】13人

【目的・活動】

是川遺跡とその出土品をはじめとする八戸市内の文化財の愛護事業に協力し、その活用を図り、地域文化の向上に資することを目的として発足した。主な活動として、是川遺跡の紹介や環境整備・保全活動、及び文化財愛護思想の啓蒙等がある。

特に環境整備等の活動では、平成6年(1994)に実施された分館敷地内の復元竪穴住居における燻し等の保守管理活動や、縄文時代に生育されていたと考えられる植物の植栽活動等を継続的に実施している。

平成24・25年度には復元竪穴住居2棟の修繕を実施し、再整備が終了した。

3. 是川縄文隊

【設立年】平成24年 【会員数】10人

【目的・活動】

是川地域住民の宝である、是川縄文遺跡の保存・活用に寄与するとともに、是川縄文館を核とした「是川縄文の里」の地域振興を図ることを目的に発足。当団体では、

- ①是川縄文館来館者への地域のPR
- ②是川縄文館来館者増につながる地域特性を活かした活動
- ③是川縄文遺跡の保存・活用・PRにつながる活動に関する事業を行う。平成28年6月18日から11月12日までに是川縄文館敷地内において、地域振興を図ることを目的に来館者へ周辺ガイドマップを配布したほか、是川産直野菜を販売するなど地域のPR活動を行った(11回開催)。



是川縄文隊の活動の様子

4. 縄文是川ボランティア

【設立年】平成8年 【会員数】62人

【目的・活動】

是川遺跡及びその出土品をはじめ縄文時代の調査・研究の成果を活用して、八戸市の縄文遺跡や縄文文化の素晴らしさを市民に伝え、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の教育普及活動を支援することを目的とし、下記の活動を行っている。

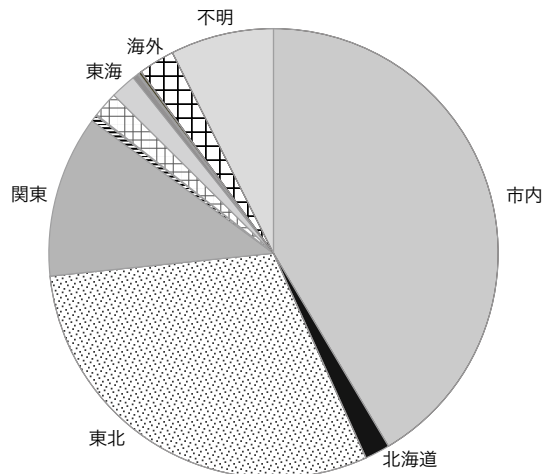
- ①縄文体験コーナー②土曜日体験教室③グループ・団体の体験学習の指導④縄文土器野焼き⑤学校・公民館等での体験学習の指導⑥研究・研修・学習会⑦是川縄文館本館・分館の展示室や是川遺跡のガイド

【活動実績】※体験学習指導の詳細については、Ⅲ-3教育普及、Ⅴ-2日記抄を参照されたい。



ボランティア養成講座での研修

月	開館 日数	延人数	一日平 均人数
4	27	254	11
5	26	259	30
6	27	248	33
7	28	313	29
8	27	258	25
9	26	248	37
10	27	306	27
11	25	258	31
12	23	181	19
1	23	191	10
2	25	233	10
3	28	245	12
計	312	2,994	10



都道府県	人数
八戸市内	2689
北海道	116
東北	1,955
関東	756
中部	30
北陸	5
東海	120
近畿	120
中国	26
四国	6
九州	13
沖縄	0
海外	169
不明	482
総計	6,487

**縄文是川ボランティア
活動人数**

縄文是川ボランティア展示解説 地方別利用状況
※縄文是川ボランティアの聞き取りにより把握した利用者数

利 用 案 内

○開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

○観覧料

区 分	個 人	団 体
一般	250 円	130 円
大学生・高校生	150 円	80 円
中学生・小学生	50 円	30 円

※市内小・中学生は無料。市内65歳以上の方、「身体障害者手帳」「戦傷病者手帳」「愛護（療育）手帳」「精神障害者保健福祉手帳」のいずれかをお持ちの方と、同伴者1名は半額。

※特別展は料金が変わります。

○休館日 毎週月曜日（第一月曜日・祝日・振替休日の場合は開館）

祝日・振替休日の翌日（土・日曜日、祝日の場合は翌日）

年末年始（12月27日～1月4日）

○交 通

バス：JR八戸駅から土日祝日のみ南部バスで22分

ラピアバスターミナル・中心街から南部バス（J42、J112）で約25分

中心街バスターミナル3（中央通）から南部バス ぐるっぷ（左回り）で約20分

自動車：八戸自動車道・八戸ICから約10分

○駐車場

本館：普通車86台 大型バス6台 障がい者用3台

分館：普通車30台

○所在地

本館：青森県八戸市大字是川字横山1

TEL 0178-38-9511 FAX0178-96-5392

分館：青森県八戸市大字是川字中居3-1

TEL 0178-96-1484

○ホームページ

<http://www.korekawa-jomon.jp/>

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

年 報

第 6 号 -平成 28 年度-

発 行 日 2017 年 6 月 15 日
編 集 ・ 発 行 八戸市教育委員会
八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
〒 031-0023 青森県八戸市大字是川字横山 1
TEL 0178 (38) 9511 FAX 0178 (96) 5392
印 刷 有限会社 三陽印刷
〒 031-0801 青森県八戸市江陽四丁目 1-2
TEL 0178 (24) 2002 FAX 0178 (24) 2001

